■新旧対照表

新	旧
（表紙）〔第２版〕 太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期） 令和８年 月 太宰府市	（表紙） 太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期） 令和５年３月 太宰府市

■新旧対照表

新

（P4）

太宰府市歴史的風致維持向上協議会の構成

氏名	所属	区分	備考（歴まち法による区分）
辻田　淳一郎	九州大学人文科学研究院准教授	（1）識見を有する者	・学識経験者
森　弘子	福岡県文化財保護審議会委員 元筑紫女学園大学客員教授		・副会長 ・学識経験者
（公財）古都大宰府保存協会推薦者		（2）関係団体を代表する者	・歴史に関するボランティア団体等 ・歴史的風致維持向上施設の整備 又は管理を行う者
NPO法人都市・建築遺産保存支援機構推薦者			・太宰府市歴史的風致維持向上支援法人
福岡県教育庁文化財保護課推薦者		（3）関係行政機関の職員	・都道府県（教育委員会部局）
福岡県建築都市部都市計画課推薦者			・都道府県（知事部局）
太宰府市都市整備部長			・当該市町村（市長部局） ・歴史的風致維持向上施設の整備 又は管理を行う者
太宰府市教育部長			・当該市町村（教育委員会部局） ・歴史的風致維持向上施設の整備 又は管理を行う者
八尋　和郎	㈱THINK ZERO代表取締役	（4）その他市長が必要と認める者	・会長 ・その他市長が必要と認める者
市民公募			・その他市長が必要と認める者
太宰府市商工会推薦者			・その他市長が必要と認める者

旧

（P4）

太宰府市歴史的風致維持向上協議会の構成

氏名	所属	区分	備考（歴まち法による区分）
辻田　淳一郎	九州大学人文科学研究院准教授	（1）識見を有する者	・学識経験者
森　弘子	福岡県文化財保護審議会委員 元筑紫女学園大学客員教授		・副会長 ・学識経験者
南里　義則	（公財）古都大宰府保存協会事務局長	（2）関係団体を代表する者	・歴史に関するボランティア団体等 ・歴史的風致維持向上施設の整備 又は管理を行う者
赤松　悟	NPO法人都市・建築遺産保存支援機構理事		・太宰府市歴史的風致維持向上支援法人
福岡県教育庁文化財保護課文化財保護係長		（3）関係行政機関の職員	・都道府県（教育委員会部局）
福岡県建築都市部都市計画課長			・都道府県（知事部局）
太宰府市都市整備部長			・当該市町村（市長部局） ・歴史的風致維持向上施設の整備 又は管理を行う者
太宰府市教育部長			・当該市町村（教育委員会部局） ・歴史的風致維持向上施設の整備 又は管理を行う者
八尋　和郎	㈱THINK ZERO代表取締役	（4）その他市長が必要と認める者	・会長 ・その他市長が必要と認める者
鈴木　和子	市民公募		・その他市長が必要と認める者
島田　文恵	太宰府市商工会		・その他市長が必要と認める者

■新旧対照表

新

（P5）

4　計画策定の経緯

第１期計画は、平成 22 年（2010）11 月 22 日に認定を受け、その後、２回の軽微な変更、５回の計画変更を行った。平成 27 年（2015）２月 27 日には平成 34 年度までの計画延長が認められた。

第２期計画は、第１期計画の歴史的風致を再検討し、第１期計画の成果や新たに生じた課題を踏まえ、歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等に関する事項等を整理し策定した。

第１期計画の策定・変更の経緯

平成22年11月22日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」認定
平成25年 3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更の届出
平成27年 1月13日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
2月27日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
12月17日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更の届出
平成29年10月13日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
10月31日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
平成31年 3月 4日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
令和2年 2月28日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
3月24日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
令和4年 3月18日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定

第２期計画の策定・変更の経緯

令和4年 3月23日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
4月11日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
4月15日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
4月18日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
6月	太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）について文化財課確認
7月 4日	太宰府市歴史的風致維持向上協議会
8月19日	太宰府市歴史的風致維持向上協議会
8月	太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）について文化財課確認
10月 4日	太宰府市景観・市民遺産審議会 ・「太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）」の報告
10月18日	太宰府市文化財専門委員会 ・「太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）」の報告
11月 1日 ～11月30日	パブリックコメント実施
令和5年 1月11日	太宰府市歴史的風致維持向上協議会
1月30日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」を決定
3月 6日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」を三省へ認定申請
3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」認定
令和8年 月 日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」軽微な変更の届出

旧

（P5）

4　計画策定の経緯

第１期計画は、平成 22 年（2010）11 月 22 日に認定を受け、その後、２回の軽微な変更、５回の計画変更を行った。平成 27 年（2015）２月 27 日には平成 34 年度までの計画延長が認められた。

第２期計画は、第１期計画の歴史的風致を再検討し、第１期計画の成果や新たに生じた課題を踏まえ、歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等に関する事項等を整理し策定した。

第１期計画の策定・変更の経緯

平成22年11月22日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」認定
平成25年 3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更の届出
平成27年 1月13日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
2月27日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
12月17日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更の届出
平成29年10月13日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
10月31日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
平成31年 3月 4日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
令和2年 2月28日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
3月24日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定
令和4年 3月18日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」の変更申請
3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」変更認定

第２期計画の策定の経緯

令和4年 3月23日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
4月11日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
4月15日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
4月18日	太宰府市歴史的風致維持向上計画庁内関係課会議
6月	太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）について文化財課確認
7月 4日	太宰府市歴史的風致維持向上協議会
8月19日	太宰府市歴史的風致維持向上協議会
8月	太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）について文化財課確認
10月 4日	太宰府市景観・市民遺産審議会 ・「太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）」の報告
10月18日	太宰府市文化財専門委員会 ・「太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）」の報告
11月 1日 ～11月30日	パブリックコメント実施
令和5年 1月11日	太宰府市歴史的風致維持向上協議会
1月30日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」を決定
3月 6日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」を三省へ認定申請
3月29日	「太宰府市歴史的風致維持向上計画」認定

■新旧対照表

新

(P30)

4　文化財等の分布状況

本市には、古代大宰府が設けられた関係から、古代大宰府に端を発する遺跡や社寺、それらにまつわる資料が多く残されている。しかし、太宰府は災害や戦乱が多かった関係で、木造建造物の多くが失われ、中世以前のものは太宰府天満宮境内にわずかに残るのみである。よって、太宰府天満宮門前町や旧集落に残る住宅や蔵など歴史的な木造建造物のほとんどが近世・近代の建造物である。しかしながら、太宰府は石材が豊富で、中世戦乱の供養の石塔などが多く造られたこともあり、市内全域の路傍や宅地の片隅に石塔・石神・石碑などの石造物が多く残されている。

このような状況で、本市には、国、福岡県、太宰府市の指定・登録文化財が総計118件（令和8年3月現在）存在している。その内訳は国指定文化財45件、県指定文化財35件、市指定文化財37件である。その内容は市域の16%を占める大宰府関連史跡のほか、太宰府天満宮や観世音寺といった社寺建築とそこに収蔵されている彫刻、絵画、工芸品が多く、全体として市域の北側に多く所在する。また、指定物件の年代を概観すると、古代大宰府から続く本市の歴史性を反映して古代や中世の文化財が多く指定されている。

区分			国指定	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物		4	5	5	1	15
	美術工芸品	絵画		2	1		3
		彫刻	19	2	3		24
		工芸	5	11			16
		書跡・典籍	1				1
		古文書	1		1		2
		考古資料	5	6	15		26
		歴史資料			1		1
民俗文化財	有形の民俗文化財			2	1		3
	無形の民俗文化財			3			3
記念物	遺跡		8	2	3		13
	名勝地			1			1
	動物・植物・地質鉱物		2	1	7		10
合計			45	35	37	1	118

太宰府市の指定・登録文化財件数（令和8年3月現在）

旧

(P30)

4　文化財等の分布状況

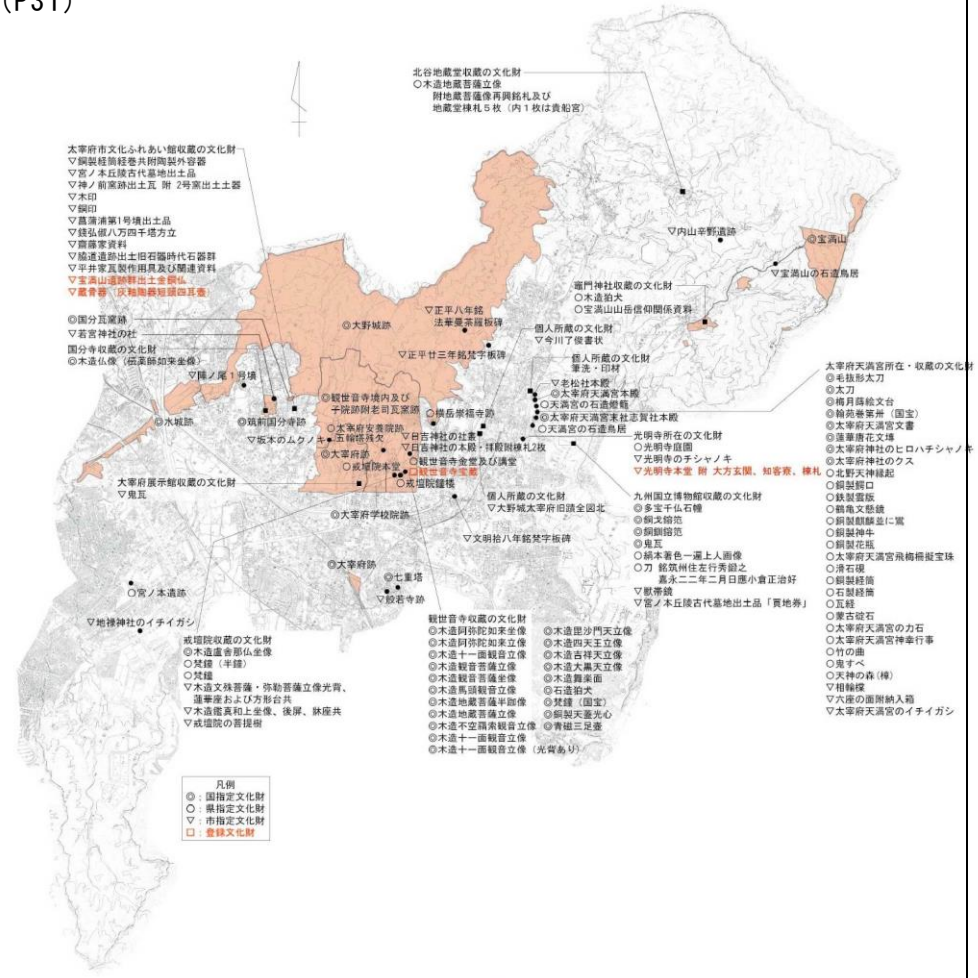
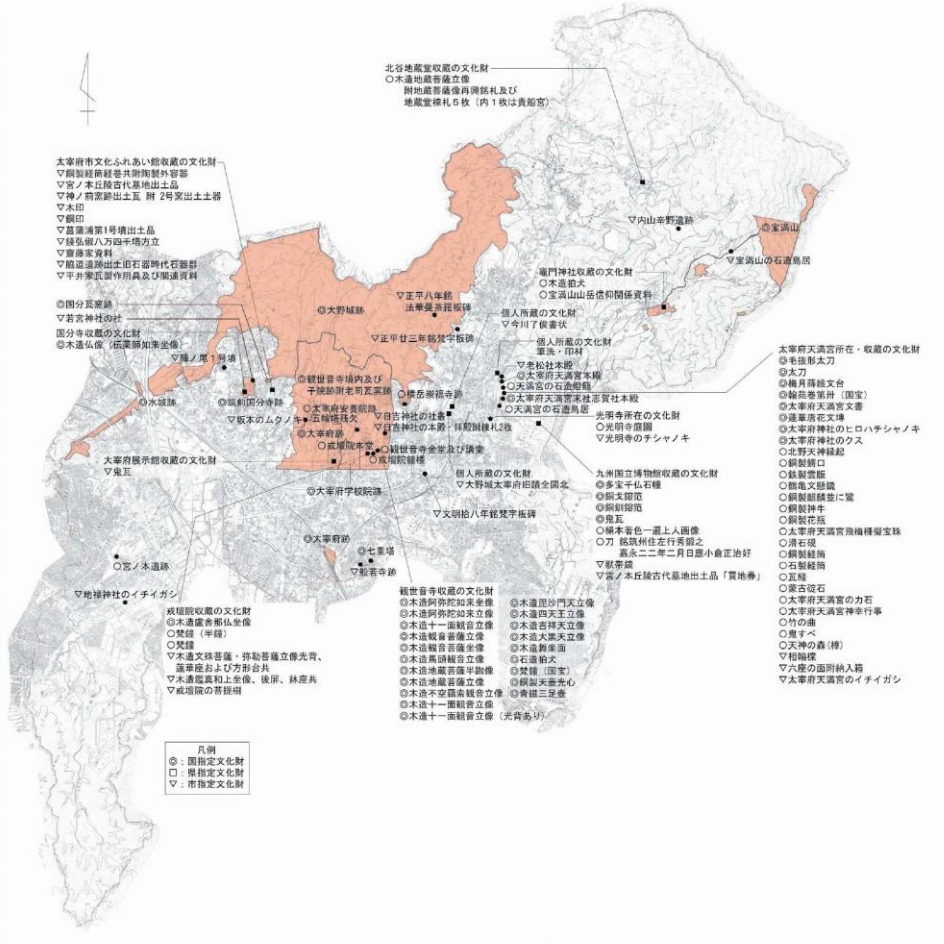
本市には、古代大宰府が設けられた関係から、古代大宰府に端を発する遺跡や社寺、それらにまつわる資料が多く残されている。しかし、太宰府は災害や戦乱が多かった関係で、木造建造物の多くが失われ、中世以前のものは太宰府天満宮境内にわずかに残るのみである。よって、太宰府天満宮門前町や旧集落に残る住宅や蔵など歴史的な木造建造物のほとんどが近世・近代の建造物である。しかしながら、太宰府は石材が豊富で、中世戦乱の供養の石塔などが多く造られたこともあり、市内全域の路傍や宅地の片隅に石塔・石神・石碑などの石造物が多く残されている。

このような状況で、本市には、国、福岡県、太宰府市の指定文化財が総計114件（令和4年12月現在）存在している。その内訳は国指定文化財45件、県指定文化財35件、市指定文化財34件である。その内容は市域の16%を占める大宰府関連史跡のほか、太宰府天満宮や観世音寺といった社寺建築とそこに収蔵されている彫刻、絵画、工芸品が多く、全体として市域の北側に多く所在する。また、指定物件の年代を概観すると、古代大宰府から続く本市の歴史性を反映して古代や中世の文化財が多く指定されている。

区分			国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	建造物		4	5	4	13
	美術工芸品	絵画		2	1	3
		彫刻	19	2	3	24
		工芸	5	11		16
		書跡・典籍	1			1
		古文書	1		1	2
		考古資料	5	6	13	24
		歴史資料			1	1
民俗文化財	有形の民俗文化財			2	1	3
	無形の民俗文化財			3		3
記念物	遺跡		8	2	3	13
	名勝地			1		1
	動物・植物・地質鉱物		2	1	7	10
合計			45	35	34	114

太宰府市の指定文化財件数（令和4年12月現在）

■新旧対照表

新	旧
(P31)  太宰府市の指定・登録文化財分布状況（令和８年３月現在）	(P31)  太宰府市の指定文化財分布状況（令和４年 12 月現在）
31	31

■新旧対照表

新

(P37)

（4）主な未指定文化財

◆太宰府天満宮楼門

慶長年間建築の楼門が明治 37 年（1904）に焼失したため、明治神宮などの設計に携わった安藤時蔵らの設計により大正３年（1914）に再建された（社記・棟札より）。構造は入母屋造檜皮葺の三間三戸門で、本殿側から見ると楼門だが、逆から見ると二重門に見えるという珍しい造りとなっている。また、屋根の形は梁に束を立てて母屋桁を支える伝統的な和小屋で整えながら、構造はトラスで構成する混合構造となっている。


太宰府天満宮楼門

◆光明寺山門

一間一戸、切妻造、本瓦葺、平入りの四脚門である。親柱は円柱、控柱は面取角柱、親柱上には三斗枠肘木、中備に大板蟇股、控柱上に大斗花肘木、妻には大虹梁板蟇股がある。虹梁の絵様や木鼻などから 18 世紀前半建築と推測され、市内で最も古い門である。


光明寺山門

◆観世音寺宝蔵〔国登録文化財（建造物）〕

昭和 34 年（1959）に観世音寺復興事業の一環として建築されたもの（昭和 34 年（1959）７月９日付け朝日新聞）。宝蔵は高床の鉄筋コンクリート造、寄棟造の本瓦葺で、棟には鴟尾をあげる。腰壁は瓦の木端積である。舟肘木で支える軒天井を吹付仕上、板軒風の軒を打ち放している。伝統的な様式を踏まえながら、精度の高い型枠工事がなされている。


観世音寺宝蔵

◆松屋

太宰府天満宮参道の大町地区にあり、江戸期以来、松屋と号して旅館と醤油屋を営んでいた。主屋は平入りの木造三階建、屋根は３階が妻入りの入母屋造桟瓦葺で、２階には下屋を四周に巡らし、外壁は大壁造である。経年感と座敷意匠から江戸末期建築と推測され、３階については小屋棟木の墨書から明治 12 年（1879）の増築とわかる。内部は当初の姿をよく留め、幕末の志士が出入りした由緒に相応しい風格を備えている。


松屋

旧

(P37)

（4）主な未指定文化財

◆太宰府天満宮楼門

慶長年間建築の楼門が明治 37 年（1904）に焼失したため、明治神宮などの設計に携わった安藤時蔵らの設計により大正３年（1914）に再建された（社記・棟札より）。構造は入母屋造檜皮葺の三間三戸門で、本殿側から見ると楼門だが、逆から見ると二重門に見えるという珍しい造りとなっている。また、屋根の形は梁に束を立てて母屋桁を支える伝統的な和小屋で整えながら、構造はトラスで構成する混合構造となっている。


太宰府天満宮楼門

◆光明寺山門

一間一戸、切妻造、本瓦葺、平入りの四脚門である。親柱は円柱、控柱は面取角柱、親柱上には三斗枠肘木、中備に大板蟇股、控柱上に大斗花肘木、妻には大虹梁板蟇股がある。虹梁の絵様や木鼻などから 18 世紀前半建築と推測され、市内で最も古い門である。


光明寺山門

◆観世音寺宝蔵

昭和 34 年（1959）に観世音寺復興事業の一環として建築されたもの（昭和 34 年（1959）７月９日付け朝日新聞）。宝蔵は高床の鉄筋コンクリート造、寄棟造の本瓦葺で、棟には鴟尾をあげる。腰壁は瓦の木端積である。舟肘木で支える軒天井を吹付仕上、板軒風の軒を打ち放している。伝統的な様式を踏まえながら、精度の高い型枠工事がなされている。


観世音寺宝蔵

◆松屋

太宰府天満宮参道の大町地区にあり、江戸期以来、松屋と号して旅館と醤油屋を営んでいた。主屋は平入りの木造三階建、屋根は３階が妻入りの入母屋造桟瓦葺で、２階には下屋を四周に巡らし、外壁は大壁造である。経年感と座敷意匠から江戸末期建築と推測され、３階については小屋棟木の墨書から明治 12 年（1879）の増築とわかる。内部は当初の姿をよく留め、幕末の志士が出入りした由緒に相応しい風格を備えている。


松屋

■新旧対照表

新

(P40)

（6）太宰府市民遺産

市民遺産とは、市民と地域または市が伝えたい太宰府固有の物語、その基盤となる文化遺産、そして、文化遺産を保存活用する育成活動を総合したものである。市民遺産は、住民・事業者・行政機関の代表者で構成される景観・市民遺産会議により認定される。この制度は平成 22 年（2010）10 月に始まり、令和８年（2026）３月時点で 17 件の市民遺産が認定されている。

第1号	太宰府の木うそ	第10号	太宰府の梅上げ行事
第2号	八朔の千燈明	第11号	高雄の自然と歴史
第3号	かつてあった道 四王寺山の太宰府町道	第12号	太宰府悠久の丘～太宰府メモリアルパークからの眺望
第4号	芸術家 冨永朝堂	第13号	太宰府をうたう♪全11曲（作曲・唄 岩崎記代子）
第5号	万葉集つくし歌壇	第14号	梅香苑夏まつり子どもみこし
第6号	太宰府における時の記念日の行事	第15号	四王寺山の三十三石仏
第7号	隈麿公のお墓	第16号	宝満山のヒキガエル
第8号	太宰府の絵師 萱島家　※現在認定解除	第17号	竹の曲
第9号	苅萱の関跡とかるかや物語	第18号	王城神社「宮座お籠り」神事および「真魚箸料理」

太宰府市民遺産一覧（令和８年３月現在）


四王寺山の太宰府町道


芸術家 冨永朝堂


万葉集つくし歌壇


隈麿公のお墓


苅萱の関跡とかるかや物語


高雄の自然と歴史


太宰府悠久の丘


梅香苑夏まつり子どもみこし


四王寺山の三十三石仏

旧

(P40)

（6）太宰府市民遺産

市民遺産とは、市民と地域または市が伝えたい太宰府固有の物語、その基盤となる文化遺産、そして、文化遺産を保存活用する育成活動を総合したものである。市民遺産は、住民・事業者・行政機関の代表者で構成される景観・市民遺産会議により認定される。この制度は平成 22 年（2010）10 月に始まり、令和５年（2023）２月時点で 17 件の市民遺産が認定されている。

第1号	太宰府の木うそ	第10号	太宰府の梅上げ行事
第2号	八朔の千燈明	第11号	高雄の自然と歴史
第3号	かつてあった道 四王寺山の太宰府町道	第12号	太宰府悠久の丘～太宰府メモリアルパークからの眺望
第4号	芸術家 冨永朝堂	第13号	太宰府をうたう♪全11曲（作曲・唄 岩崎記代子）
第5号	万葉集つくし歌壇	第14号	梅香苑夏まつり子どもみこし
第6号	太宰府における時の記念日の行事	第15号	四王寺山の三十三石仏
第7号	隈麿公のお墓	第16号	宝満山のヒキガエル
第8号	太宰府の絵師 萱島家	第17号	竹の曲
第9号	苅萱の関跡とかるかや物語		

太宰府市民遺産一覧（令和５年２月現在）


四王寺山の太宰府町道


芸術家 冨永朝堂


万葉集つくし歌壇


隈麿公のお墓


苅萱の関跡とかるかや物語


高雄の自然と歴史


太宰府悠久の丘


梅香苑夏まつり子どもみこし


四王寺山の三十三石仏

■新旧対照表

新

(P41)

（7）日本遺産

日本遺産は、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化した、わが国の文化・伝統を語るストーリーを国が認定するものである。関係省庁の協力のもと、歴史的魅力にあふれた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、また世界に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るものである。

平成 27 年（2015）４月、初の日本遺産が全国で 18 件誕生し、太宰府市の地域の歴史を語るストーリー「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」が認定された。その後、大太宰府的観点でこの地を捉え直すこととし、令和２年（2020）６月には、代表自治体が太宰府市から福岡県に代わり、周辺６市町の構成文化財 11 件を加えた広域型（シリアル型）となった。「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」は「世界とつながる「西の都」」「外国使節を迎える都」「筑紫に花咲く文化」「先進文化の集積」の大きく４部から構成される。筑紫に置かれた大宰府は朝廷が外交・交易を行うために設けた「西の都」であり、それは百済の宮都・唐の宮都にならって築かれ、東アジアの先進文化と日本の文化とが行き交う場所であったことから、その遺産が筑紫の地の随所にみられ、日本を代表する古都のひとつとして、人々を魅了しているというストーリーをとりまとめている。太宰府市内においては、以下の 19 の文化遺産が構成文化財となっている。

しかし、令和７年（2025）２月、住民の認知度不足や観光客の周遊が不十分などの理由から、日本遺産の認定が取り消されている。

市内に所在する日本遺産の構成文化財

1、特別史跡 大宰府跡	8、史跡 宝満山	14、大宰府条坊跡
2、特別史跡 大野城跡	9、国宝 観世音寺梵鐘	15、官道
3、特別史跡 水城跡	10、太宰府天満宮	16、軍団印出土地
4、観世音寺・戒壇院	11、太宰府天満宮神幸行事	17、般若寺跡
5、史跡 筑前国分寺跡	12、太宰府天満宮の伝統行事	18、南館跡
6、史跡 大宰府学校院跡	13、万葉集筑紫歌壇	19、太宰府の梅
7、史跡 国分瓦窯跡		

市外に所在する日本遺産の構成文化財

20、基肄城跡【筑紫野市・基山町】	26、牛頸須恵器窯跡【大野城市・春日市】
21、阿志岐山城跡【筑紫野市】	27、牛頸須恵器窯跡出土ヘラ書き須恵器【大野城市】
22、次田温泉（二日市温泉）【筑紫野市】	28、御笠の森【大野城市】
23、塔原塔跡【筑紫野市】	29、善一田古墳群【大野城市】
24、天拝山【筑紫野市】	30、裂田溝【那珂川市】
25、杉塚廃寺【筑紫野市】	

旧

(P41)

（7）日本遺産

日本遺産は、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化した、わが国の文化・伝統を語るストーリーを国が認定するものである。関係省庁の協力のもと、歴史的魅力にあふれた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、また世界に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るものである。

平成 27 年（2015）４月、初の日本遺産が全国で 18 件誕生し、太宰府市の地域の歴史を語るストーリー「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」が認定された。その後、大太宰府的観点でこの地を捉え直すこととし、令和２年（2020）６月には、代表自治体が太宰府市から福岡県に代わり、周辺６市町の構成文化財 11 件を加えた広域型（シリアル型）となった。「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」は「世界とつながる「西の都」」「外国使節を迎える都」「筑紫に花咲く文化」「先進文化の集積」の大きく４部から構成される。筑紫に置かれた大宰府は朝廷が外交・交易を行うために設けた「西の都」であり、それは百済の宮都・唐の宮都にならって築かれ、東アジアの先進文化と日本の文化とが行き交う場所であったことから、その遺産が筑紫の地の随所にみられ、日本を代表する古都のひとつとして、人々を魅了しているというストーリーをとりまとめている。太宰府市内においては、以下の 19 の文化遺産が構成文化財となっている。

市内に所在する日本遺産の構成文化財

1、特別史跡 大宰府跡	8、史跡 宝満山	14、大宰府条坊跡
2、特別史跡 大野城跡	9、国宝 観世音寺梵鐘	15、官道
3、特別史跡 水城跡	10、太宰府天満宮	16、軍団印出土地
4、観世音寺・戒壇院	11、太宰府天満宮神幸行事	17、般若寺跡
5、史跡 筑前国分寺跡	12、太宰府天満宮の伝統行事	18、南館跡
6、史跡 大宰府学校院跡	13、万葉集筑紫歌壇	19、太宰府の梅
7、史跡 国分瓦窯跡		

市外に所在する日本遺産の構成文化財

20、基肄城跡【筑紫野市・基山町】	26、牛頸須恵器窯跡【大野城市・春日市】
21、阿志岐山城跡【筑紫野市】	27、牛頸須恵器窯跡出土ヘラ書き須恵器【大野城市】
22、次田温泉（二日市温泉）【筑紫野市】	28、御笠の森【大野城市】
23、塔原塔跡【筑紫野市】	29、善一田古墳群【大野城市】
24、天拝山【筑紫野市】	30、裂田溝【那珂川市】
25、杉塚廃寺【筑紫野市】	

■新旧対照表

新

(P49)

太宰府天満宮門前町の主な歴史的建造物一覧

番号	名称	写真	所在地	所有者	特徴	築年	築年根拠（1972年以前建築根拠）
1	小田家住宅		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。二階建の土蔵もある。	明治初期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
2	甘木屋（高田家住宅）		宰府2丁目	個人	妻入りの木造3階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は真壁造。	明治38年（1905）	固定資産台帳 宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
3	古香書屋（吉嗣家住宅）		宰府3丁目	個人	主屋は妻入り木造平屋建、入母屋造桟瓦葺。門・土塀・土蔵を有する。	明治末期 大正3年（1914）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年 第2
4	定遠館・土塀		宰府2丁目	太宰府天満宮	妻入りの木造平屋建、屋根は入母屋造桟瓦葺、定遠の戦艦の部材を使用。土塀と門扉が残る。	明治時代	昭和39年頃撮影写真
5	小山家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	江戸末期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
6	杉村家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
7	小野家住宅		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。	大正11年（1922）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
8	有岡家土蔵		宰府3丁目	個人	梁間1間半、桁行2間半、屋根は切妻造桟瓦葺。	明治前期	『太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年』
9	不老家店舗		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治37年（1904）	太宰府市資料
10	木村家住宅		宰府1丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
11	泉屋（大野家住宅）		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、一時期4階建に増築されている。屋根は入母屋造桟瓦葺。	江戸末期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
12	連歌屋好古亭		宰府3丁目	太宰府天満宮	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は炭漆喰塗。	大正15年（1926）	棟札『高田家住宅文化財建造物調査』2020
13	小野家店舗		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。	大正10年（1921）	太宰府市資料
14	松鳴屋（徳永家店舗）		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。雁木と土蔵を有する。	明治中期	太宰府市『太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年』2005年
15	松尾家店舗		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。当初は真壁造。	大正末期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
16	大野屋（手島家住宅）		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	江戸末期	太宰府市『手島家住宅文化財建造物調査』2017年
17	松屋（栗原家住宅）		宰府2丁目	個人	平入りの木造三階建、屋根は二階が妻入りの入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	江戸	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年

番号	名称	写真	所在地	所有者	特徴	築年	築年根拠（1972年以前建築根拠）
18	日田屋（安恒家住宅）		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治10年（1877）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
19	大和屋（佐藤家住宅）		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。当初は大壁造。	江戸	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
20	古川家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁正面は真壁造。	明治29年（1896）	太宰府市資料
21	江崎家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの立ちの高い木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。	昭和初期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
22	吉村家住宅		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。	昭和26年（1951）	太宰府市資料
23	宮本家住宅		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。当初は真壁造。	大正10年（1921）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
24	手島家住宅		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。	明治38年（1905）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
25	水城家店舗		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は真壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
26	北崎家住宅		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。2025年解体。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
27	萱島家住宅		宰府1丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は真壁造。炭漆喰仕上げ。	近代	昭和30年航空写真
28	加納家住宅		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。鬼屋と伝わる。2025年解体。	明治初期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
29	高木家店舗		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。	明治20年（1887）	太宰府市資料
30	西山家住宅（主屋・塀）		宰府1丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。参道側に門と土塀あり。	明治前期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
31	豊藤家住宅		宰府1丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治前期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
32	高田家住宅		宰府1丁目	個人	平入りの木造平屋建、屋根は現在切妻造桟瓦葺だが、当初は寄棟造茅葺。	19世紀中頃	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
33	大藪家土塀・門		五条1丁目	個人	土塀は切石積の基礎に白漆喰仕上げ。土塀間に棟門。	明治時代	戦前写真

旧

(P49)

太宰府天満宮門前町の主な歴史的建造物一覧

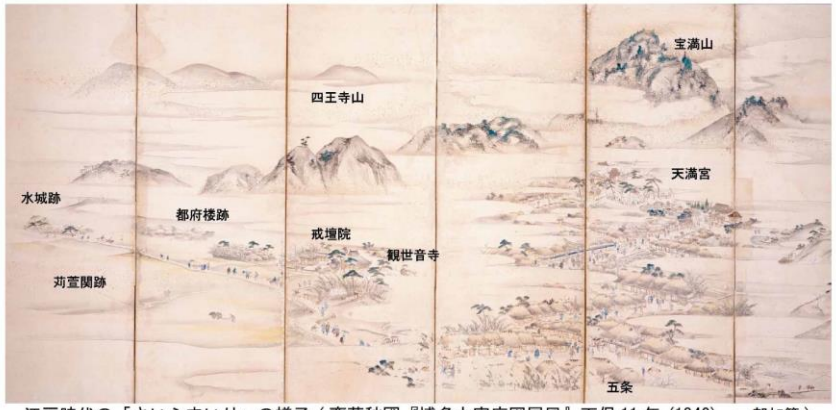
番号	名称	写真	所在地	所有者	特徴	築年	築年根拠（1972年以前建築根拠）
1	小田家住宅		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。二階建の土蔵もある。	明治初期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
2	甘木屋（高田家住宅）		宰府2丁目	個人	妻入りの木造3階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は真壁造。	明治38年（1905）	固定資産台帳 宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
3	古香書屋（吉嗣家住宅）		宰府3丁目	個人	主屋は妻入り木造平屋建、入母屋造桟瓦葺。門・土塀・土蔵を有する。	明治末期 大正3年（1914）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年 第2
4	定遠館・土塀		宰府2丁目	太宰府天満宮	妻入りの木造平屋建、屋根は入母屋造桟瓦葺、定遠の戦艦の部材を使用。土塀と門扉が残る。	明治時代	昭和39年頃撮影写真
5	小山家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	江戸末期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
6	杉村家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
7	小野家住宅		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。	大正11年（1922）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
8	有岡家土蔵		宰府3丁目	個人	梁間1間半、桁行2間半、屋根は切妻造桟瓦葺。	明治前期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年』
9	不老家店舗		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治37年（1904）	太宰府市資料
10	木村家住宅		宰府1丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
11	泉屋（大野家住宅）		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、一時期4階建に増築されている。屋根は入母屋造桟瓦葺。	江戸末期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
12	連歌屋好古亭		宰府3丁目	太宰府天満宮	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は炭漆喰塗。	大正15年（1926）	棟札『高田家住宅文化財建造物調査』2020
13	小野家店舗		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。	大正10年（1921）	太宰府市資料
14	松鳴屋（徳永家店舗）		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。雁木と土蔵を有する。	明治中期	太宰府市『太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年』2005年
15	松尾家店舗		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。当初は真壁造。	大正末期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
16	大野屋（手島家住宅）		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	江戸末期	太宰府市『手島家住宅文化財建造物調査』2017年
17	松屋（栗原家住宅）		宰府2丁目	個人	平入りの木造三階建、屋根は二階が妻入りの入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	江戸	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年

番号	名称	写真	所在地	所有者	特徴	築年	築年根拠（1972年以前建築根拠）
18	日田屋（安恒家住宅）		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治10年（1877）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
19	大和屋（佐藤家住宅）		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。後補であるが唐破風を付す。	江戸	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
20	古川家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁正面は真壁造。	明治29年（1896）	太宰府市資料
21	江崎家住宅		宰府3丁目	個人	平入りの立ちの高い木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。	昭和初期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
22	吉村家住宅		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。	昭和26年（1951）	太宰府市資料
23	宮本家住宅		宰府3丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。当初は真壁造。	大正10年（1921）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
24	手島家住宅		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。外壁は真壁造。	明治38年（1905）	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
25	水城家店舗		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は真壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
26	北崎家住宅		宰府2丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治中期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
27	萱島家住宅		宰府1丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は真壁造、炭漆喰仕上げ。	近代	昭和30年航空写真
28	加納家住宅		宰府2丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。鬼屋と伝わる。	明治初期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
29	高木家店舗		宰府3丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は切妻造桟瓦葺。	明治20年（1887）	太宰府市資料
30	西山家住宅（主屋・塀）		宰府1丁目	個人	平入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。参道側に門と土塀あり。	明治前期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
31	豊藤家住宅		宰府1丁目	個人	妻入りの木造二階建、屋根は入母屋造桟瓦葺。外壁は大壁造。	明治前期	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
32	高田家住宅		宰府1丁目	個人	平入りの木造平屋建、屋根は現在切妻造桟瓦葺だが、当初は寄棟造茅葺。	19世紀中頃	太宰府市『太宰府天満宮門前の町並みと民家保存整備調査報告書』2005年
33	大藪家土塀・門		五条1丁目	個人	土塀は切石積の基礎に白漆喰仕上げ。土塀間に棟門。	明治時代	物由写真

■新旧対照表

新

(P69)



江戸時代の「さいふまいり」の様子（齋藤秋圃『博多太宰府図屏風』天保 11 年（1840）、一部加筆）
（個人蔵、写真提供：九州歴史資料館）

座る姿から、参詣者に対する休み処が各所に開かれていたことがわかる。

当時、さいふまいりに訪れた人々の紀行文に、「右には水茶や軒をならべ梅が枝てふ餅をうる。」（『狂歌西都紀行』文化４年（1807））、「並に摂待茶屋美麗に懸物生花、色々物ずきの作り也。前後左右宮中茶屋に而ふさぐ」「其外社中の小茶屋数多し。」（『筑紫旅行日記』抄　享和元年（1801））、「側なる茶店に立ちよりて昼のかれひ（乾飯）たうべなんどして夫より観世音寺に詣づ」（『安楽寺詣日記』安政４年（1857））、「参道でソバ（弐拾四文盛のソバ）・焼餅（焼餅を食して）」（『冨永徳助嘉永三年日記』）と記され、茶屋をはじめ、焼き餅（梅ケ枝餅）、ソバ、梅が売られていた。また、日田街道とさいふまいりの道が分かれる関屋では「関屋のつなぎだご」という団子が売られていた。山家から宰府のまちへ入る石坂峠には茶屋があり、岩間から出る清水とともに夏は冷たいトコロテンが名物であった。さらに土産物として「こぼれ梅」「焼き餅」「木の盆」があり、木の盆には客の前で参拝記念の月日や名前などを彫って売っていた。その頃の様子を「いろいろ茶てんなんど、いとにぎはひたり」（『道の安良・五月雨紀行』抄　文政８年（1825））と伝えている。

なお、太宰府のお茶について、『竈門山旧記』（江戸中期）には藩主黒田長政より茶の実 10 石を拝領し、内山の九重原付近を茶園にしたとあり、『福岡縣地理全誌』（明治 13 年（1880））には「北谷村」の項目に土産品として「茶」が記載されている。これらのお茶は、さいふまいりに来た人々の喉を潤している。

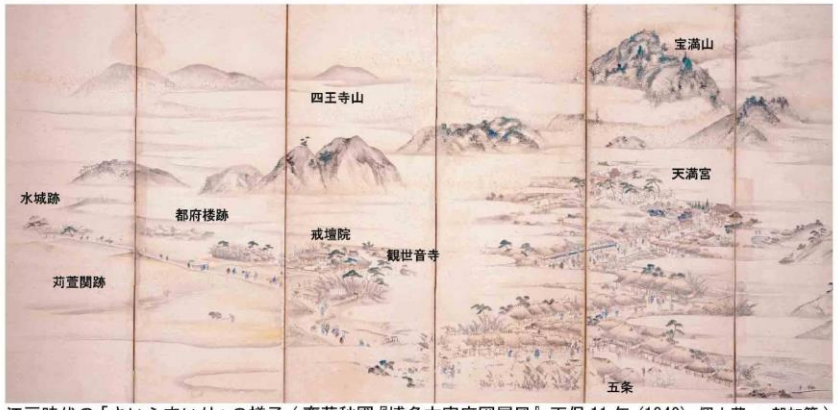


石坂峠の水場

このようなさいふまいりが現在に至るまで続いているのは、道真の文才や不遇な晩

旧

(P69)



江戸時代の「さいふまいり」の様子（齋藤秋圃『博多太宰府図屏風』天保 11 年（1840）個人蔵、一部加筆）

座る姿から、参詣者に対する休み処が各所に開かれていたことがわかる。

当時、さいふまいりに訪れた人々の紀行文に、「右には水茶や軒をならべ梅が枝てふ餅をうる。」（『狂歌西都紀行』文化４年（1807））、「並に摂待茶屋美麗に懸物生花、色々物ずきの作り也。前後左右宮中茶屋に而ふさぐ」「其外社中の小茶屋数多し。」（『筑紫旅行日記』抄　享和元年（1801））、「側なる茶店に立ちよりて昼のかれひ（乾飯）たうべなんどして夫より観世音寺に詣づ」（『安楽寺詣日記』安政４年（1857））、「参道でソバ（弐拾四文盛のソバ）・焼餅（焼餅を食して）」（『冨永徳助嘉永三年日記』）と記され、茶屋をはじめ、焼き餅（梅ケ枝餅）、ソバ、梅が売られていた。また、日田街道とさいふまいりの道が分かれる関屋では「関屋のつなぎだご」という団子が売られていた。山家から宰府のまちへ入る石坂峠には茶屋があり、岩間から出る清水とともに夏は冷たいトコロテンが名物であった。さらに土産物として「こぼれ梅」「焼き餅」「木の盆」があり、木の盆には客の前で参拝記念の月日や名前などを彫って売っていた。その頃の様子を「いろいろ茶てんなんど、いとにぎはひたり」（『道の安良・五月雨紀行』抄　文政８年（1825））と伝えている。

なお、太宰府のお茶について、『竈門山旧記』（江戸中期）には藩主黒田長政より茶の実 10 石を拝領し、内山の九重原付近を茶園にしたとあり、『福岡縣地理全誌』（明治 13 年（1880））には「北谷村」の項目に土産品として「茶」が記載されている。これらのお茶は、さいふまいりに来た人々の喉を潤している。



石坂峠の水場

このようなさいふまいりが現在に至るまで続いているのは、道真の文才や不遇な晩

■新旧対照表

新

(P72)

絵師・齋藤秋圃が天保11年(1840)に描いた「博多太宰府図屏風」には檜皮葺の延寿王院や土塀で囲まれた社家屋敷、大町には宿屋と目される瓦葺2階建の家並があり、新町・五条には草葺の店が連続し、その中を多くの人々が往来している様子が描かれている。また、紀行文にも「…宿坊宿屋の賑ひ五十鈴川にもおとらじとおもふ」(『狂歌西都紀行』含笑舎抱膤、文化4年(1807))と伊勢神宮と対比する形で賑やかなさまを伝えている。



江戸時代の参道のまち並みと賑わい
(齋藤秋圃『博多太宰府図屏風』天保11年(1840)、一部加筆)
(個人蔵、写真提供：九州歴史資料館)


銅の鳥居がある頃の大町のまち並み
(大正時代、絵葉書)

参道以外の門前も、小鳥居小路から溝尻は一般商店で賑わい、俗謡に「溝尻口の狭いから　お祭りごとに　おっせしがっせしょう(おまつりのように押し合いしている)」と唄われるほどであった。新町・五条についても商家や職人の家が軒を連ねていた。吉田重房は『筑紫紀行』文化3年(1806)に「十丁ばかり行けば、太宰府に至る。(五条から)町屋千軒ばかり、六七丁もたちつづけり。町中(大町)に銅の鳥居たてり。又一丁ばかりゆけば。一の鳥居とて大きなる石の鳥居あり。鳥居の前に下馬札たてり。銅の鳥居より此鳥居まで。一丁あまりの間は茶屋宿屋のみなり。大野屋といふ宿屋を休み所と定め置て。供の男にもたせたる荷物をも此宿にあづけさせて。案内のものを求めて参詣す。かくて一の鳥居に入れば。桜の馬場といひて。左右に桜の木多数生たり。」と当時の門前の様子を詳しく描写している。

このような参道では、17棟が今も江戸時代から昭和初めまでの歴史的建造物で営業を続けている。特に大町参道には、江戸時代の旅館であった泉屋、大野屋、松屋、大和屋が生業を変えながらも営業している。

その他、三条から五条までの通り沿いも宿屋(高田家)や絵師(吉嗣家、萱島家)、地主(西山家、斎藤家)、鍛冶屋(高田家)、商家(木村家)の建物が散在し門前の面影を伝えている。

ウ、門前におけるおもてなし

太宰府天満宮の門前にとって、明治維新は大きな衝撃をもたらした。神仏分離、境内

旧

(P72)

絵師・齋藤秋圃が天保11年(1840)に描いた「博多太宰府図屏風」には檜皮葺の延寿王院や土塀で囲まれた社家屋敷、大町には宿屋と目される瓦葺2階建の家並があり、新町・五条には草葺の店が連続し、その中を多くの人々が往来している様子が描かれている。また、紀行文にも「…宿坊宿屋の賑ひ五十鈴川にもおとらじとおもふ」(『狂歌西都紀行』含笑舎抱膤、文化4年(1807))と伊勢神宮と対比する形で賑やかなさまを伝えている。



江戸時代の参道のまち並みと賑わい
(齋藤秋圃『博多太宰府図屏風』天保11年(1840)個人蔵、一部加筆)


銅の鳥居がある頃の大町のまち並み
(大正時代、絵葉書)

参道以外の門前も、小鳥居小路から溝尻は一般商店で賑わい、俗謡に「溝尻口の狭いから　お祭りごとに　おっせしがっせしょう(おまつりのように押し合いしている)」と唄われるほどであった。新町・五条についても商家や職人の家が軒を連ねていた。吉田重房は『筑紫紀行』文化3年(1806)に「十丁ばかり行けば、太宰府に至る。(五条から)町屋千軒ばかり、六七丁もたちつづけり。町中(大町)に銅の鳥居たてり。又一丁ばかりゆけば。一の鳥居とて大きなる石の鳥居あり。鳥居の前に下馬札たてり。銅の鳥居より此鳥居まで。一丁あまりの間は茶屋宿屋のみなり。大野屋といふ宿屋を休み所と定め置て。供の男にもたせたる荷物をも此宿にあづけさせて。案内のものを求めて参詣す。かくて一の鳥居に入れば。桜の馬場といひて。左右に桜の木多数生たり。」と当時の門前の様子を詳しく描写している。

このような参道では、17棟が今も江戸時代から昭和初めまでの歴史的建造物で営業を続けている。特に大町参道には、江戸時代の旅館であった泉屋、大野屋、松屋、大和屋が生業を変えながらも営業している。

その他、三条から五条までの通り沿いも宿屋(高田家)や絵師(吉嗣家、萱島家)、地主(西山家、斎藤家)、鍛冶屋(高田家)、商家(木村家)の建物が散在し門前の面影を伝えている。

ウ、門前におけるおもてなし

太宰府天満宮の門前にとって、明治維新は大きな衝撃をもたらした。神仏分離、境内

■新旧対照表

新	旧
(P94) 共に国の史跡に指定された。 ・講堂 入母屋造本瓦葺、平面は本体３間に裳階四面形式で、南面して建つ。棟札より元禄元年（1688）の建築である。県指定有形文化財。  観世音寺金堂・講堂 ・金堂 境内西側にあり東面して建つ。入母屋造本瓦葺で、正面５間、側面４間で、身舎柱は八角柱で礎盤を置き、庇は角柱を用いている。明治初期の『福岡縣地理全誌』よると、寛永８年（1631）に建築されたものという。県指定有形文化財。 ・宝蔵 昭和 34 年（1959）に観世音寺復興事業の一環として建築されたもので（昭和 34 年（1959）７月９日付け朝日新聞）、高床の鉄筋コンクリート造、寄棟造の本瓦葺で、棟には鴟尾をあげる。腰壁は瓦の木端積で、舟肘木で支える軒天井を吹付仕上、板軒風の軒を打ち放している。伝統的な様式を踏まえながら、精度の高い型枠工事がなされている。内部には重要文化財の仏像が安置されている。国登録文化財。  観世音寺宝蔵 ・鐘楼 明治時代の絵葉書には、講堂前にある鐘楼が写されているが、昭和 20 年代には観世音寺五重塔跡の東側の現在地に移され、昭和 30 年代には鐘楼周囲で子供たちが遊ぶ写真が残されている。その鐘楼は花崗岩の打ち込み接ぎの石垣の基壇上にあり、建物は、２間×１間の切妻造本瓦葺で、柱は丸柱である。  観世音寺鐘楼 （３）活動 観世音寺の梵鐘は、菅原道真が漢詩「不出門（もんをいでず）」で「都府楼纔看瓦色観音寺只聴鐘聲」（『菅家後集』延喜３年（903））と詠ったことで知られる。 現在観世音寺では、秋の天満宮神幸祭のとき以外、日常的に梵鐘を撞くことはなく、12	(P94) 共に国の史跡に指定された。 ・講堂 入母屋造本瓦葺、平面は本体３間に裳階四面形式で、南面して建つ。棟札より元禄元年（1688）の建築である。県指定有形文化財。  観世音寺金堂・講堂 ・金堂 境内西側にあり東面して建つ。入母屋造本瓦葺で、正面５間、側面４間で、身舎柱は八角柱で礎盤を置き、庇は角柱を用いている。明治初期の『福岡縣地理全誌』よると、寛永８年（1631）に建築されたものという。県指定有形文化財。 ・宝蔵 昭和 34 年（1959）に観世音寺復興事業の一環として建築されたもので（昭和 34 年（1959）７月９日付け朝日新聞）、高床の鉄筋コンクリート造、寄棟造の本瓦葺で、棟には鴟尾をあげる。腰壁は瓦の木端積で、舟肘木で支える軒天井を吹付仕上、板軒風の軒を打ち放している。伝統的な様式を踏まえながら、精度の高い型枠工事がなされている。内部には重要文化財の仏像が安置されている。  観世音寺宝蔵 ・鐘楼 明治時代の絵葉書には、講堂前にある鐘楼が写されているが、昭和 20 年代には観世音寺五重塔跡の東側の現在地に移され、昭和 30 年代には鐘楼周囲で子供たちが遊ぶ写真が残されている。その鐘楼は花崗岩の打ち込み接ぎの石垣の基壇上にあり、建物は、２間×１間の切妻造本瓦葺で、柱は丸柱である。  観世音寺鐘楼 （３）活動 観世音寺の梵鐘は、菅原道真が漢詩「不出門（もんをいでず）」で「都府楼纔看瓦色観音寺只聴鐘聲」（『菅家後集』延喜３年（903））と詠ったことで知られる。 現在観世音寺では、秋の天満宮神幸祭のとき以外、日常的に梵鐘を撞くことはなく、12
94	94

■新旧対照表

新

(P120)

第３章　歴史的風致の維持及び向上に関する方針

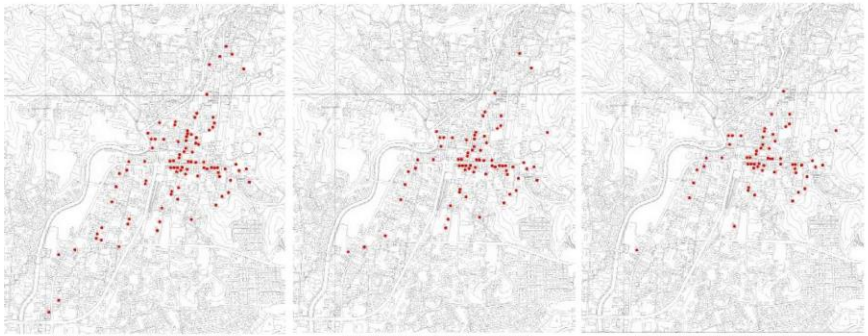
１　歴史的風致の維持及び向上に関する課題

本市は、第１期計画に基づき、特別史跡水城跡や特別史跡大野城跡の保存修理、観世音寺金堂や戒壇院山門等の保存修理事業をはじめ、歴史的風致形成建造物保存修理事業などの修理の助成や、現代建築物などのまち並み修景助成、散策路整備や門前町の道路の美装化、荒れていた文化遺産の広場整備、老朽化したサイン整備など、歴史的風致の維持及び向上に取り組んできた。その結果、歴史的建造物の保全、文化遺産の顕在化及び周辺環境の改善が進み、まちの魅力向上、来訪者の回遊が広がりつつある。

しかし、本市には歴史的風致を形成している要素が数多くあり、いまだに着手できていない課題も多く残されている。また、今なお観光客の太宰府天満宮周辺への一局集中は解消されたとは言えず、歴史的風致の魅力を向上させ、観光客の回遊性を高めていく必要がある。また、文化遺産やまちづくりに対する住民と支援団体との関わり方については、太宰府市民遺産という枠組みを設けたものの、まだ十分に機能しているとは言えない。

（１）歴史的建造物等の保存・活用に関する課題

本市は、第１期計画に基づき、歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し保存修理を行い、太宰府天満宮門前町の現代建築物では修景事業を行った。また、小鳥居小路などでは道路の修景事業を行い、小鳥居小路の道路端を流れる幸ノ元溝尻水路は、取水施設を整備し、一部水路を開渠し顕在化させた。その結果、門前町の魅力が向上し、参道に集中していた来訪者が小鳥居小路など周辺一帯を回遊するようになってきた。そして、計画以前は毎年３件滅失していた門前所在の歴史的建造物が、第１期計画に基づく保存修理の支援により、滅失率は毎年１件と緩やかになり、レストランやホテルとしての活用が進ん



平成 14 年（2002）93 棟　　平成 21 年（2009）72 棟　　令和４年（2022）59 棟

太宰府天満宮門前の歴史的建造物の保存状況

旧

(P120)

第３章　歴史的風致の維持及び向上に関する方針

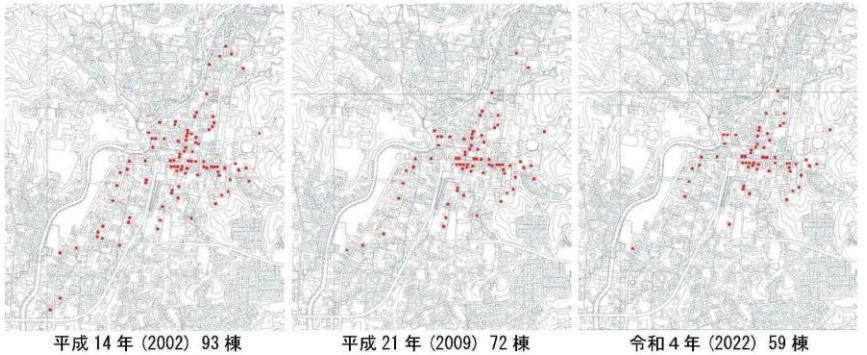
１　歴史的風致の維持及び向上に関する課題

本市は、第１期計画に基づき、特別史跡水城跡や特別史跡大野城跡の保存修理、観世音寺金堂や戒壇院山門等の保存修理事業をはじめ、歴史的風致形成建造物保存修理事業などの修理の助成や、現代建築物などのまち並み修景助成、散策路整備や門前町の道路の美装化、荒れていた文化遺産の広場整備、老朽化したサイン整備など、歴史的風致の維持及び向上に取り組んできた。その結果、歴史的建造物の保全、文化遺産の顕在化及び周辺環境の改善が進み、まちの魅力向上、来訪者の回遊が広がりつつある。

しかし、本市には歴史的風致を形成している要素が数多くあり、いまだに着手できていない課題も多く残されている。また、今なお来訪者の太宰府天満宮周辺への一局集中は解消されたとは言えず、より一層の回遊性を高めていく必要がある。また、文化遺産やまちづくりに対する住民と支援団体との関わり方については、太宰府市民遺産という枠組みを設けたものの、まだ十分に機能しているとは言えない。

（１）歴史的建造物等の保存・活用に関する課題

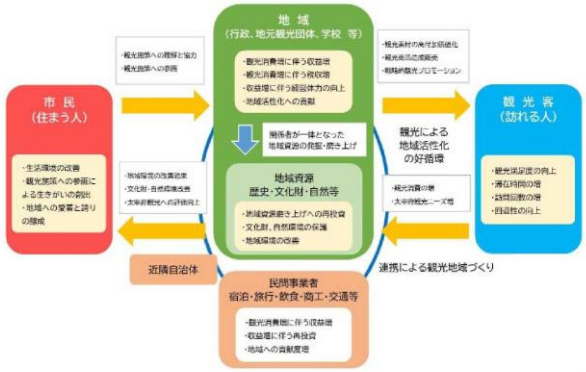
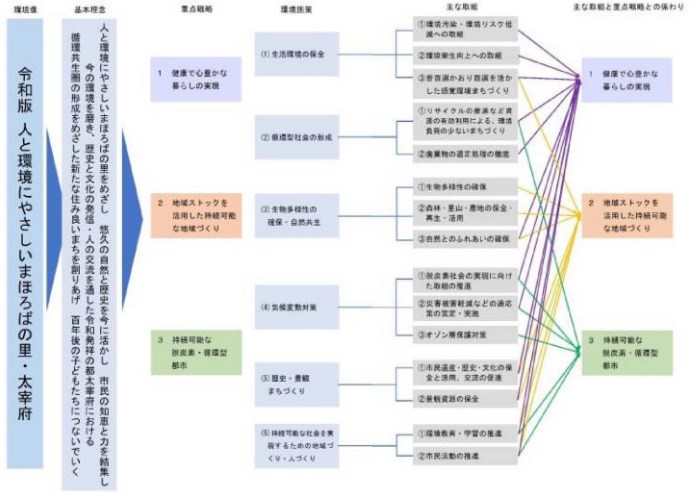
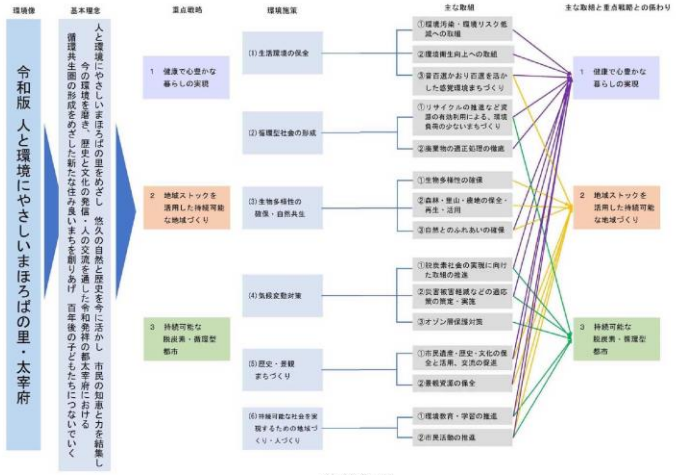
本市は、第１期計画に基づき、歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し保存修理を行い、太宰府天満宮門前町の現代建築物では修景事業を行った。また、小鳥居小路などでは道路の修景事業を行い、小鳥居小路の道路端を流れる幸ノ元溝尻水路は、取水施設を整備し、一部水路を開渠し顕在化させた。その結果、門前町の魅力が向上し、参道に集中していた来訪者が小鳥居小路など周辺一帯を回遊するようになってきた。そして、計画以前は毎年３件滅失していた門前所在の歴史的建造物が、第１期計画に基づく保存修理の支援により、滅失率は毎年１件と緩やかになり、レストランやホテルとしての活用が進ん



平成 14 年（2002）93 棟　　平成 21 年（2009）72 棟　　令和４年（2022）59 棟

太宰府天満宮門前の歴史的建造物の保存状況

■新旧対照表

新	旧
(P130) （9）第二次太宰府市観光推進基本計画（令和５年（2023）度） 本計画は、「住まう人も、訪れる人もともに慶びを分かち合える“令和の都 だざいふ”を将来像とし、本市が有する歴史や文化などの地域資源を活用して、地域市民や民間事業者等と連携し体験型観光による地域活性化を促進するとともに、観光客からの経済税収効果をさらに高め、市民にその効果を還元できる観光まちづくりを目指す。  観光を核とした地域活性化イメージ図 (10) 第四次太宰府市環境基本計画（令和３年（2021）度） 令和３年（2021）度に環境まちづくりの取り組みを図るため、本市の各種取り組みを環境保全の観点から整理し、総合的な取り組みを図るために策定した。重点戦略として、「健康で心豊かな暮らしの実現」「地域ストックを活用した持続可能な地域づくり」「持続可能な脱炭素・循環型都市」を掲げている。  施策体系	(P130) （9）太宰府市観光推進基本計画（平成 31 年（2019）度） 本計画は、「住む人も訪れる人も共に喜びをわかちあえるまちづくりを目指し、今後の太宰府市の観光振興についての基本的な考え方、目標を示し、またその具体的な施策を示す」という方針のもと策定した。その後、改元に伴い、令和発祥の都として注目されるようになったことや、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて観光客が激減したことなど、社会情勢や環境の変化、新しい観光の潮流やニーズを受けて、「大太宰府」的な観点から、令和３年（2021）４月に追加変更を行った。具体的な事業計画には「「大太宰府観光」「令和・梅花のご縁」観光プロジェクト」や「温故知新の旅」など、太宰府でしか体験ができない歴史・文化・自然を感じられる観光プログラムを位置付けている。 【太宰府市　観光推進基本計画の将来像】  観光推進基本計画の将来像 (10) 第四次太宰府市環境基本計画（令和３年（2021）度） 令和３年（2021）度に環境まちづくりの取り組みを図るため、本市の各種取り組みを環境保全の観点から整理し、総合的な取り組みを図るために策定した。重点戦略として、「健康で心豊かな暮らしの実現」「地域ストックを活用した持続可能な地域づくり」「持続可能な脱炭素・循環型都市」を掲げている。  施策体系
130	130

■新旧対照表

新	旧
(P131) 3　歴史的風致の維持及び向上に関する方針 （1）歴史的建造物等の保存・活用に関する方針 ○歴史的風致を構成している建造物のうち、既に文化財の指定などがなされているものについては、引き続き文化財保護法、福岡県文化財保護条例、太宰府市文化財保護条例に基づき適切な保護措置を講じる。さらに県・市指定の文化財については、歴史的風致形成建造物に指定し、文化財部局と連携しながら、さらなる支援を行う。歴史的風致を構成している未指定の建造物については、歴史的風致上の位置付けや観光資源としての可能性等について、所有者に周知を図る。そして、建造物の価値を明確にするため、必要な調査を実施し、指定にふさわしいものについては、歴史的風致形成建造物に指定し、滅失の防止や保存修理などに対する支援策を講じ、必要に応じて文化財指定などを行い確実な保護措置を講じることとする。また、維持管理についても所有者負担が軽減されるような持続可能な保護策を検討する。 ○大宰府関連史跡や宝満山については、計画的に保存・整備・管理計画を策定し、活用に結び付けていく。また、文化財部局を中心に関係各課で連携し、史跡保護を図りながら、史跡整備や周辺の環境整備を行い、観光資源としての魅力向上を図っていく。 （2）歴史的風致の周辺環境に関する方針 ○「さいふまいり」の名所地でもある大宰府跡や水城跡、風景地である四王寺山は、市民活動を維持しつつ、樹木の適切な管理伐採を実施し、獣害防止策について検討する。 ○四王寺山麓一帯の史跡地内の公有地や耕作放棄地の景観改善のため、コストのかかるだけの維持保存型から官民一体となった価値を生み出す活用型へ転換を図る。 ○顕在化されていない名所地は、環境整備や修景を検討する。また、名所地を繋ぐ参詣道や歴史の散歩道は、一般住宅街と変わらない道路環境を改善し、散策したくなるような魅力的な散策路を目指し、観光客の回遊を図る。 ○水城跡では、東門跡一帯の景観を阻害している電柱・電線の景観修景や、河川等により分断されている東西の回遊性を向上させる環境整備を検討する。 ○大宰府関連史跡では、老朽化した施設やサインの改修を実施し、近年の来訪者の増加に併せた多言語化やバリアフリーなどのユニバーサルデザイン化を進める。 ○さいふまいりの参詣道や自然の風景地であった御笠川や鷺田川などでは、景観に配慮した環境整備を図る。 ○太宰府天満宮門前町では、まち並みの連続性を保持するため、建造物や駐車場などの修景の助成事業を推進する。 ○太宰府天満宮参道では、老朽化した路面の整備や変圧器等の整理に取り組む。また、江戸時代の建造物が残る大町地区については、その景観を活かす環境整備を検討する。 ○参道を南北に横切る小鳥居小路や溝尻道路の魅力向上を図るため、水路やまち並み 131	(P131) 3　歴史的風致の維持及び向上に関する方針 （1）歴史的建造物等の保存・活用に関する方針 ○歴史的風致を構成している建造物のうち、既に文化財の指定などがなされているものについては、引き続き文化財保護法、福岡県文化財保護条例、太宰府市文化財保護条例に基づき適切な保護措置を講じる。さらに県・市指定の文化財については、歴史的風致形成建造物に指定し、文化財部局と連携しながら、さらなる支援を行う。歴史的風致を構成している未指定の建造物については、歴史的風致上の位置付けを所有者に対し周知を図る。そして、建造物の価値を明確にするため、必要な調査を実施し、指定にふさわしいものについては、歴史的風致形成建造物に指定し、滅失の防止や保存修理などに対する支援策を講じ、必要に応じて文化財指定などを行い確実な保護措置を講じることとする。また、維持管理についても所有者負担が軽減されるような持続可能な保護策を検討する。 ○大宰府関連史跡や宝満山については、計画的に保存・整備・管理計画を策定し、活用に結び付けていく。また、文化財部局を中心に関係各課で連携しながら、史跡整備や周辺の環境整備を推進していく。 （2）歴史的風致の周辺環境に関する方針 ○「さいふまいり」の名所地でもある大宰府跡や水城跡、風景地である四王寺山は、市民活動を維持しつつ、樹木の適切な管理伐採を実施し、獣害防止策について検討する。 ○四王寺山麓一帯の史跡地内の公有地や耕作放棄地の景観改善のため、コストのかかるだけの維持保存型から官民一体となった価値を生み出す活用型へ転換を図る。 ○顕在化されていない名所地は、環境整備や修景を検討する。また、名所地を繋ぐ参詣道や歴史の散歩道は、一般住宅街と変わらない道路環境を改善し、散策したくなるような魅力的な散策路を目指す。 ○水城跡では、東門跡一帯の景観を阻害している電柱・電線の景観修景や、河川等により分断されている東西の回遊性を向上させる環境整備を検討する。 ○大宰府関連史跡では、老朽化した施設やサインの改修を実施し、近年の来訪者の増加に併せた多言語化やバリアフリーなどのユニバーサルデザイン化を進める。 ○さいふまいりの参詣道や自然の風景地であった御笠川や鷺田川などでは、景観に配慮した環境整備を図る。 ○太宰府天満宮門前町では、まち並みの連続性を保持するため、建造物や駐車場などの修景の助成事業を推進する。 ○太宰府天満宮参道では、老朽化した路面の整備や変圧器等の整理に取り組む。また、江戸時代の建造物が残る大町地区については、その景観を活かす環境整備を検討する。 ○参道を南北に横切る小鳥居小路や溝尻道路の魅力向上を図るため、水路やまち並み 131

■新旧対照表

新

(P151)

第５章　文化財の保存又は活用に関する事項

１　市全体に関する事項

（１）文化財の保存・活用の現況と今後の方針

市内全域には国･県指定文化財及び市指定文化財として総数118件（令和８年３月現在）が存在している。有形文化財・有形の民俗文化財のうち文化財の指定がなされているものは太宰府天満宮・竈門神社・観世音寺・戒壇院・九州国立博物館・福岡県・自治会及び個人で所有もしくは管理され、その多くは国もしくは県指定の文化財である。

有形文化財（建造物）は、国指定４件、県指定５件、市指定５件、国登録１件の計15件あり、宗教法人所有がほとんどであるが原則公開されている。確実な保護のため現状の調査・診断を進め、所有者・管理者などとの協議のもと保存活用計画を策定するなど、計画的な保存修理に努める。また、維持管理について所有者負担が軽減されるような持続可能な保護策を検討する。

有形文化財（美術工芸品）は、国指定31件、県指定21件、市指定21件の計73件あり、市もしくは宗教法人が所有するものが多い。市は所有者や管理者と定期的に連絡を取り、文化財や管理状況の現状確認に努める。

記念物は、市もしくは宗教法人が管理団体となって保存管理を行っているものがほとんどである。特に史跡は８件（特別史跡３件、史跡５件）、面積は約487.1haであり、市の面積の16.4%を占めている。そのうち約72.1%を公有化して管理し、現在は特別史跡水城跡と大野城跡の保存整備事業が実施されている。これら史跡の保存活用計画については、大宰府跡と宝満山が策定済みであり、それぞれの計画に基づき保存活用を進めていく。さらに大宰府跡の再整備や蔵司跡の整備活用、御笠川で分断された水城跡の回遊性を持たせた再整備について検討していく。その他の史跡についても順次保存活用計画を策定し適切な保存活用の推進に努める。

民俗文化財は、有形の民俗文化財３件（県指定２件、市指定１件）、無形の民俗文化財３件（県指定３件）である。太宰府天満宮神幸行事、鬼すべ、竹の曲（たけはやし）といった無形民俗文化財は、詳細な調査が未実施なものもあり、保存団体などと連携して記録作成を行い、市民に対する普及啓発を実施するなど保存継承に努める。

未指定の文化財は、文化財の現状を把握し、保護が必要なものや緊急を要するものから調査を行い、文化財の指定や登録などの保護措置を講じる。指定に至らない文化財についても、市民が大切にしたいと思うものについては、市民遺産など社会総がかりで活動を支援する取り組みを実施していく。地域の伝統行事等については、実態調査を実施し、地域コミュニティの変化を見定めながら伝統文化の保存継承の手法について検討する。また、歴史的風致の維持向上に資する建造物は、歴史的風致形成建造物候補とする。そして、調査などで歴史的価値が明らかになった歴史的建造物は、本計画に基づく歴史的風致形成建

旧

(P151)

第５章　文化財の保存又は活用に関する事項

１　市全体に関する事項

（１）文化財の保存・活用の現況と今後の方針

市内全域には国･県指定文化財及び市指定文化財として総数114件（令和４年12月現在）が存在している。有形文化財・有形の民俗文化財のうち文化財の指定がなされているものは太宰府天満宮・竈門神社・観世音寺・戒壇院・九州国立博物館・福岡県・自治会及び個人で所有もしくは管理され、その多くは国もしくは県指定の文化財である。

有形文化財（建造物）は、国指定４件、県指定５件、市指定４件の計13件あり、宗教法人所有がほとんどであるが原則公開されている。確実な保護のため現状の調査・診断を進め、所有者・管理者などとの協議のもと保存活用計画を策定するなど、計画的な保存修理に努める。また、維持管理について所有者負担が軽減されるような持続可能な保護策を検討する。

有形文化財（美術工芸品）は、国指定30件、県指定21件、市指定19件の計70件あり、市もしくは宗教法人が所有するものが多い。市は所有者や管理者と定期的に連絡を取り、文化財や管理状況の現状確認に努める。

記念物は、市もしくは宗教法人が管理団体となって保存管理を行っているものがほとんどである。特に史跡は８件（特別史跡３件、史跡５件）、面積は約486haであり、市の面積の16.4%を占めている。そのうち約69.6%を公有化して管理し、現在は特別史跡水城跡と大野城跡の保存整備事業が実施されている。これら史跡の保存活用計画については、大宰府跡と宝満山が策定済みであり、それぞれの計画に基づき保存活用を進めていく。さらに大宰府跡の再整備や蔵司跡の整備活用、御笠川で分断された水城跡の回遊性を持たせた再整備について検討していく。その他の史跡についても順次保存活用計画を策定し適切な保存活用の推進に努める。

民俗文化財は、有形の民俗文化財３件（県指定２件、市指定１件）、無形の民俗文化財３件（県指定３件）である。太宰府天満宮神幸行事、鬼すべ、竹の曲（たけはやし）といった無形民俗文化財は、詳細な調査が未実施なものもあり、保存団体などと連携して記録作成を行い、市民に対する普及啓発を実施するなど保存継承に努める。

未指定の文化財は、文化財の現状を把握し、保護が必要なものや緊急を要するものから調査を行い、文化財の指定や登録などの保護措置を講じる。指定に至らない文化財についても、市民が大切にしたいと思うものについては、市民遺産など社会総がかりで活動を支援する取り組みを実施していく。地域の伝統行事等については、実態調査を実施し、地域コミュニティの変化を見定めながら伝統文化の保存継承の手法について検討する。また、歴史的風致の維持向上に資する建造物は、歴史的風致形成建造物候補とする。そして、調査などで歴史的価値が明らかになった歴史的建造物は、本計画に基づく歴史的風致形成建

■新旧対照表

新	旧
(P156) の評価と、それらの保存と活用に関する事項について調査審議し答申する。学識経験者９名で構成されており、各専門分野は、歴史学分野３名（古代、中世、近世の専門が各１名）、建築分野１名、美術工芸分野２名、民俗分野１名、考古学分野１名、天然記念物分野１名となっている。今後も文化財の指定や保存活用などについて審議する。 また、史跡に関しては、土地の公有化、管理及び整備計画について適正な計画とその実施を促進することを目的に大宰府史跡対策委員会（以下、対策委員会）を設置している。史跡地地元代表 10 名と識見を有する者 3 名の計 13 名で構成されている。今後も対策委員会を通じて、地元との連携を図りながら、史跡地の公有化や整備を進めて行く。 調査については、埋蔵文化財の緊急調査が多いのが現状であるが、その他の文化財についても、公文書館や財団法人と協力しながら計画的に調査を実施し、偏りのない文化財行政を進めていく。	(P156) の評価と、それらの保存と活用に関する事項について調査審議し答申する。学識経験者９名で構成されており、各専門分野は、歴史学分野３名（古代、中世、近世の専門が各１名）、建築分野１名、美術工芸分野２名、民俗分野１名、考古学分野１名、天然記念物分野１名となっている。今後も文化財の指定や保存活用などについて審議する。 また、史跡に関しては、土地の公有化、管理及び整備計画について適正な計画とその実施を促進することを目的に大宰府史跡対策委員会（以下、対策委員会）を設置している。史跡地地元代表 10 名と識見を有する者４名の計 14 名で構成されている。今後も対策委員会を通じて、地元との連携を図りながら、史跡地の公有化や整備を進めて行く。 調査については、埋蔵文化財の緊急調査が多いのが現状であるが、その他の文化財についても、公文書館や財団法人と協力しながら計画的に調査を実施し、偏りのない文化財行政を進めていく。
（９）各種団体の状況及び今後の体制整備の方針 本市には、文化財の保存と活用に関わるまちづくり団体や NPO 法人などが存在し、さまざまなテーマで積極的な活動を展開している。今後とも、各種団体の多様な活動の継続を図るため、情報の提供や人材の育成などに協力する。特に伝統文化などについては、現在、「竹の曲保存会」や「木うそ保存会」等が活動しているが、その他の無形の活動についても、太宰府市民遺産の育成に取り組む団体や伝統文化の継承や後継者育成を図るための保存団体の育成を促すことで、市民全体で文化財を支えていく体制の構築に努める。	**（９）各種団体の状況及び今後の体制整備の方針** 本市には、文化財の保存と活用に関わるまちづくり団体や NPO 法人などが存在し、さまざまなテーマで積極的な活動を展開している。今後とも、各種団体の多様な活動の継続を図るため、情報の提供や人材の育成などに協力する。特に伝統文化などについては、現在、「竹の曲保存会」や「木うそ保存会」等が活動しているが、その他の無形の活動についても、太宰府市民遺産の育成に取り組む団体や伝統文化の継承や後継者育成を図るための保存団体の育成を促すことで、市民全体で文化財を支えていく体制の構築に努める。
２　重点区域に関する事項 **（１）文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画** 重点区域内には、市内にある国・県・市指定・国登録文化財 118 件のうち 116 件が所在している。有形文化財が多数を占め、その所有者・管理者は９団体と個人である。民俗文化財は有形３件、無形３件が指定されている。指定文化財は、文化財保護法や福岡県及び太宰府市の文化財保護条例に基づく保護措置が講じられているが、所有者や管理者などと連携のもと修理及び旧状を踏まえた整備を推進する。特に、無形民俗文化財は詳細な記録がないものもあり、保存団体などと連携して記録作成を行い、また、後継者育成の方策や支援を講ずる。史跡については、大宰府跡・宝満山については保存活用計画を策定しており、その計画に基づき保存活用を進める。その他の史跡については、文化庁や福岡県と調整しながら順次保存活用計画の策定を進める。また、歴史の散歩道やさいふまいりの参詣道を中心として、散策路の整備や周辺環境整備を推進することで、個々の文化財を有機的にネットワーク化する。 未指定の文化財は、文化遺産調査ボランティアなどと連携して調査を実施し、必要に応じて文化財指定などの保護措置を講じるほか、指定に至らない文化財も市民遺産の取り組みなどにより保存活用を図る。門前の町屋などの歴史的建造物は、必要に応じて歴史的風	**２　重点区域に関する事項** **（１）文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画** 重点区域内には、市内にある国・県・市指定文化財 114 件のうち 112 件が所在している。有形文化財が多数を占め、その所有者・管理者は９団体と個人である。民俗文化財は有形３件、無形３件が指定されている。指定文化財は、文化財保護法や福岡県及び太宰府市の文化財保護条例に基づく保護措置が講じられているが、所有者や管理者などと連携のもと修理及び旧状を踏まえた整備を推進する。特に、無形民俗文化財は詳細な記録がないものもあり、保存団体などと連携して記録作成を行い、また、後継者育成の方策や支援を講ずる。史跡については、大宰府跡・宝満山については保存活用計画を策定しており、その計画に基づき保存活用を進める。その他の史跡については、文化庁や福岡県と調整しながら順次保存活用計画の策定を進める。また、歴史の散歩道やさいふまいりの参詣道を中心として、散策路の整備や周辺環境整備を推進することで、個々の文化財を有機的にネットワーク化する。 未指定の文化財は、文化遺産調査ボランティアなどと連携して調査を実施し、必要に応じて文化財指定などの保護措置を講じるほか、指定に至らない文化財も市民遺産の取り組みなどにより保存活用を図る。門前の町屋などの歴史的建造物は、必要に応じて歴史的風
156	156

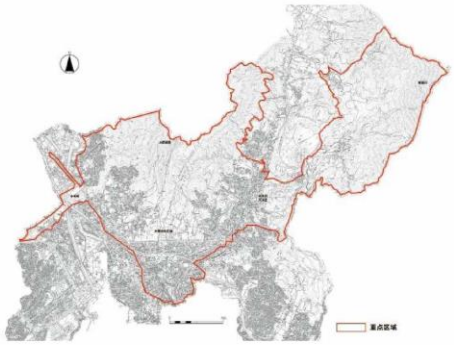
■新旧対照表

新

(P164)

２　歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等に関する事業

ア　歴史的建造物等の保存・活用に関する事業

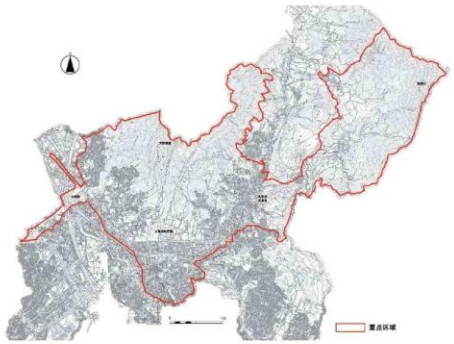
事業名	ア－① 歴史的風致形成建造物保存修理事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	平成 23 年度～令和 14 年度（2011 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域全域 
事業概要	太宰府天満宮門前の歴史的な家屋や市内に点在する社寺建築、ならびに宝満山をはじめとする市域の維持向上すべき歴史的風致に資する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理等に対する助成を行う。  保存修理前　保存修理後
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業により、後継者不足や修理費用の負担等による歴史的建造物の滅失、荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上と観光資源としての魅力向上を図る。

旧

(P164)

２　歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等に関する事業

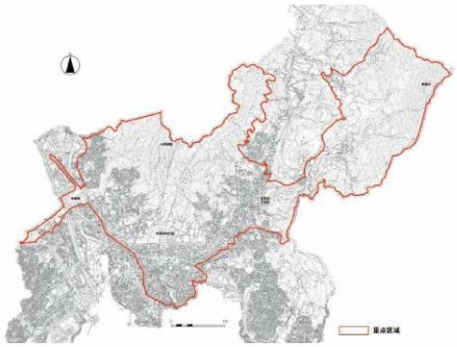
ア　歴史的建造物等の保存・活用に関する事業

事業名	ア－① 歴史的風致形成建造物保存修理事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）・市単独事業
事業期間	平成 23 年度～令和 14 年度（2011 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域全域 
事業概要	太宰府天満宮門前の歴史的な家屋や市内に点在する社寺建築、ならびに宝満山をはじめとする市域の維持向上すべき歴史的風致に資する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理等に対する助成を行う。  保存修理前　保存修理後
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業により、後継者不足や修理費用の負担等による歴史的建造物の滅失、荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで歴史的風致の維持向上を図る。

■新旧対照表

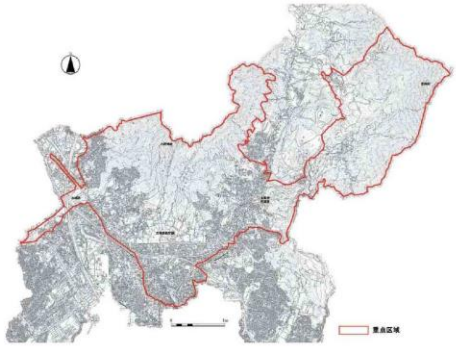
新

(P165)

事業名	ア－② 歴史的建造物調査事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（効果促進事業） 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和元年度～令和 14 年度（2019 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域全域 
事業概要	歴史的建造物を計画的に調査することでその価値を明確にすると共に観光資源として様々な利活用の有効性を検討する。また、痕跡や関係資料の調査を行い、市内にある歴史的建造物の特性を把握することで、保存修理において旧状に復する際の必要な情報収集を行う。  調査風景
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物に残された改修痕跡および関係資料の調査を行うことで、歴史的建造物の特性を知ることができ、旧状に復する事業の質を高める。また、歴史的風致形成建造物候補物件等を事前に調査することで、所有者の歴史的建造物に対する意識付けを促し、建造物の滅失を防ぐとともに、継承意識ならびに保存への意識向上へつなげ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P165)

事業名	ア－② 歴史的建造物調査事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（効果促進事業）・市単独事業
事業期間	令和元年度～令和 14 年度（2019 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域全域 
事業概要	歴史的建造物を計画的に調査することでその価値を明確にする。また、痕跡や関係資料の調査を行い、市内にある歴史的建造物の特性を把握することで、保存修理において旧状に復する際の必要な情報収集を行う。  調査風景
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物に残された改修痕跡および関係資料の調査を行うことで、歴史的建造物の特性を知ることができ、旧状に復する事業の質を高める。また、歴史的風致形成建造物候補物件等を事前に調査することで、所有者の歴史的建造物に対する意識付けを促し、建造物の滅失を防ぐとともに、継承意識ならびに保存への意識向上へつなげ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P166)

事業名	ア－③ 観世音寺鐘楼保存修理事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和６年度～令和７年度（2024 ～ 2025 年度）
事業位置	重点区域内、観世音寺５丁目 
事業概要	鐘楼は、昭和 20 年代に現在地に移設され、国宝の梵鐘を吊るしているが、鐘楼や基壇の石積みに歪みが生じていることから、鐘楼や石積みの修理を行う。  鐘楼  傷んでいる基壇の石積み
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この保存修理事業を実施することで、梵鐘を安全に保存することができ、寺院活動の継承や観光資源の保全にも繋がり、「観世音寺の除夜の鐘」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

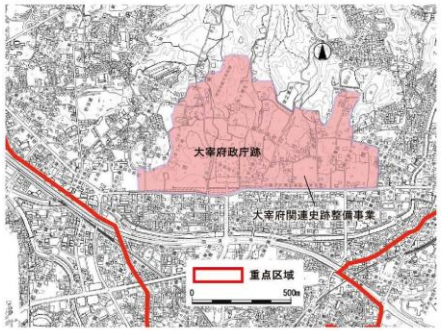
(P166)

事業名	ア－③ 観世音寺鐘楼保存修理事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和６年度～令和７年度（2024 ～ 2025 年度）
事業位置	重点区域内、観世音寺５丁目 
事業概要	鐘楼は、昭和 20 年代に現在地に移設され、国宝の梵鐘を吊るしているが、鐘楼や基壇の石積みに歪みが生じていることから、鐘楼や石積みの修理を行う。  鐘楼  傷んでいる基壇の石積み
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この保存修理事業を実施することで、梵鐘を安全に保存することができ、寺院活動の継承にも繋がり、「観世音寺の除夜の鐘」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

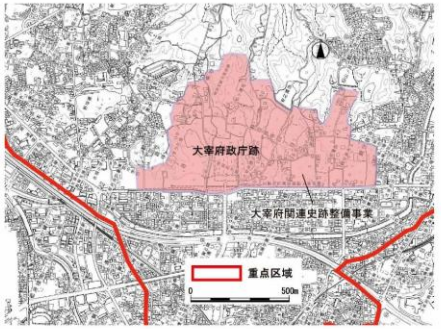
新

(P167)

事業名	ア－④ 大宰府関連史跡整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費
事業期間	令和７年度～令和 11 年度（2025 ～ 2029 年度）
事業位置	重点区域内 大宰府関連史跡 （特別史跡大宰府跡ほか） 
事業概要	大宰府政庁跡とその周辺一帯について、遺構保存修理と共に再整備を行う。  大宰府政庁跡
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大宰府関連史跡の整備は、昭和 40 年代および平成元年頃に行われた。太宰府関連史跡は、近年国内のみならず国外からも多くの来訪者が訪れ、さらに世代を問わず多くの人々にとって身近なものとなっている。この事業を実施することで、遺跡を永く保存できると共に来訪者の見学に役立ち、「さいふまいり」の名所地としての歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

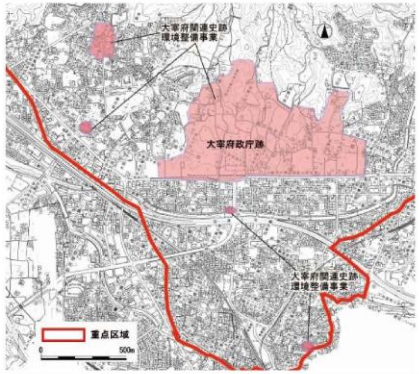
(P167)

事業名	ア－④ 大宰府関連史跡整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和７年度～令和 11 年度（2025 ～ 2029 年度）
事業位置	重点区域内 大宰府関連史跡 （特別史跡大宰府跡ほか） 
事業概要	大宰府政庁跡とその周辺一帯について、遺構保存修理と共に再整備を行う。  大宰府政庁跡
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大宰府関連史跡の整備は、昭和 40 年代および平成元年頃に行われた。太宰府関連史跡は、近年国内のみならず国外からも多くの来訪者が訪れ、さらに世代を問わず多くの人々にとって身近なものとなっている。この事業を実施することで、遺跡を永く保存できると共に来訪者の見学に役立ち、「さいふまいり」の名所地としての歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

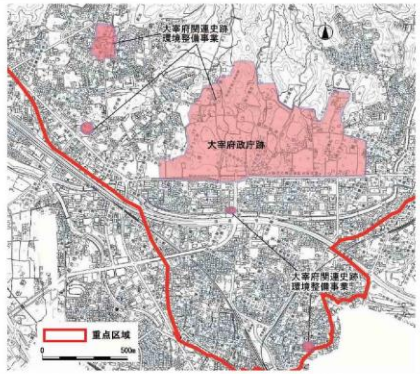
新

(P168)

事業名	ア－⑤ 大宰府関連史跡環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和８年度～令和 14 年度（2026 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、 市域内の大宰府関連史跡 （特別史跡 大宰府跡ほか） 
事業概要	大宰府跡・学校院跡・筑前国分寺跡などの大宰府関連史跡周辺の樹木を整理し、万葉の時代に愛でられていた梅などを植栽し、散策路・水路・広場・休憩施設等の環境改善整備を実施する。実施にあたってはユニバーサルデザイン化を進め、観光客をはじめ多様な人々に対応する史跡環境の改善を行う。  大宰府政庁跡周辺の園路  大宰府政庁跡周辺の水路
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施し暑さや風雨にも対応した見学者に優しい史跡周辺環境に改善することで、来訪者の利便性を向上させる。また、梅林や関連史跡の周辺環境を整備することで、古代大宰府の魅力を高め、「さいふまいり」「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P168)

事業名	ア－⑤ 大宰府関連史跡環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和８年度～令和 14 年度（2026 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、 市域内の大宰府関連史跡 （特別史跡 大宰府跡ほか） 
事業概要	大宰府跡・学校院跡・筑前国分寺跡などの大宰府関連史跡周辺の樹木を整理し、万葉の時代に愛でられていた梅などを植栽し、散策路・水路・広場・休憩施設等の環境改善整備を実施する。実施にあたってはユニバーサルデザイン化を進め、多様な人々に対応する史跡環境の改善を行う。  大宰府政庁跡周辺の園路  大宰府政庁跡周辺の水路
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施し暑さや風雨にも対応した見学者に優しい史跡周辺環境に改善することで、来訪者の利便性を向上させる。また、梅林や関連史跡の周辺環境を整備することで、古代大宰府の魅力を高め、「さいふまいり」「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P169)

事業名	ア－⑥ 大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費
事業期間	令和５年度～令和 14 年度（2023 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、市内の大宰府関連史跡 
事業概要	大宰府関連史跡とは、市内に所在する８つの史跡で、そのうち保存活用計画が策定されていない特別史跡大野城跡・水城跡、史跡観世音寺境内及び子院跡・筑前国分寺跡・国分瓦窯跡・大宰府学校院跡の保存活用するための計画を策定する。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大宰府関連史跡の整備事業を実施するにあたり、保存活用計画は不可欠である。この計画を策定することで保存修理や環境整備を推進し、史跡を後世に伝えることができ、「大宰府関連史跡の継承と保護」にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

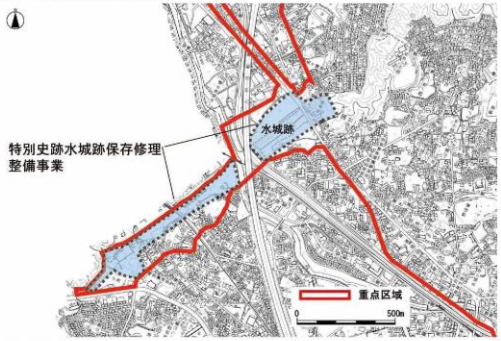
(P169)

事業名	ア－⑥ 大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和５年度～令和 14 年度（2023 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、市内の大宰府関連史跡 
事業概要	大宰府関連史跡とは、市内に所在する８つの史跡で、そのうち保存活用計画が策定されていない特別史跡大野城跡・水城跡、史跡観世音寺境内及び子院跡・筑前国分寺跡・国分瓦窯跡・大宰府学校院跡の保存活用するための計画を策定する。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大宰府関連史跡の整備事業を実施するにあたり、保存活用計画は不可欠である。この計画を策定することで保存修理や環境整備を推進し、史跡を後世に伝えることができ、「大宰府関連史跡の継承と保護」にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P170)

事業名	ア－⑦ 特別史跡水城跡保存修理整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費
事業期間	平成 19 年度～令和 14 年度（2007 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、特別史跡水城跡 
事業概要	風雨による長年の損傷個所の修理、修復を行う。また遺跡に影響を与える樹木などの間伐といった計画的な緑の維持管理を実施する。併せて広場、サイン、便所、四阿（あずまや）、園路などの環境整備を実施する。  水城東門跡付近の土塁  水城跡の樹木整理
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	築堤から 1350 年あまり経つ水城跡は、来訪者が立ち寄り、市民から親しまれる空間となっているが、一方で長年の風雨による損傷等が見られることから水城跡の保全管理を実施するとともに、回遊散策の場など地域活動やレクリエーション空間としての活用を図ることで「さいふまいり」と一体となった歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P170)

事業名	ア－⑦ 特別史跡水城跡保存修理整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 19 年度～令和 14 年度（2007 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、特別史跡水城跡 
事業概要	風雨による長年の損傷個所の修理、修復を行う。また遺跡に影響を与える樹木などの間伐といった計画的な緑の維持管理を実施する。併せて広場、サイン、便所、四阿（あずまや）、園路などの環境整備を実施する。  水城東門跡付近の土塁  水城跡の樹木整理
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	築堤から 1350 年あまり経つ水城跡は、来訪者が立ち寄り、市民から親しまれる空間となっているが、一方で長年の風雨による損傷等が見られることから水城跡の保全管理を実施するとともに、回遊散策の場など地域活動やレクリエーション空間としての活用を図ることで「さいふまいり」と一体となった歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

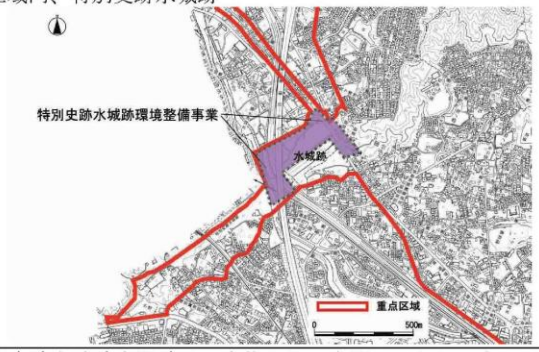
新

(P171)

事業名	ア－⑧ 特別史跡水城跡環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和 11 年度～令和 14 年度（2029 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、特別史跡水城跡 
事業概要	特別史跡水城跡東門跡は、古代からの玄関口であり、さいふまいりの参詣道である日田街道が縦断する。一方で、県道 112 号が縦断する箇所には、電線が景観を害するように縦横に敷設されており、景観改善のための周辺一帯の環境整備を実施する。また、御笠川によって東西の往来を妨げている区間について、アクセス路を整備し、水城跡の東西散策への便益向上に図る。  水城東門跡付近の電線状況  水城跡の欠堤部
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施することで、水城跡の全貌を体感できることになり、観光拠点としての魅力向上に繋がると共に、「さいふまいり」「大宰府関連史跡の継承と保護」にみる歴史的風致の維持向上へ寄与する。

旧

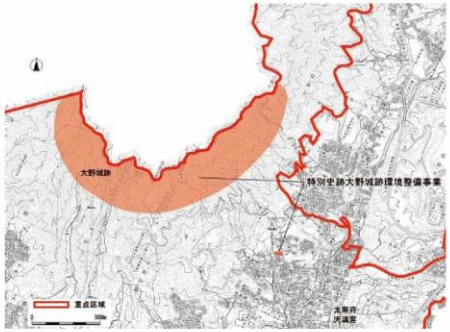
(P171)

事業名	ア－⑧ 特別史跡水城跡環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 11 年度～令和 14 年度（2029 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、特別史跡水城跡 
事業概要	特別史跡水城跡東門跡は、古代からの玄関口であり、さいふまいりの参詣道である日田街道が縦断する。一方で、県道 112 号が縦断する箇所には、電線が景観を害するように縦横に敷設されており、景観改善のための周辺一帯の環境整備を実施する。また、御笠川によって東西の往来を妨げている区間について、アクセス路を整備し、水城跡の東西散策への便益向上に図る。  水城東門跡付近の電線状況  水城跡の欠堤部
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施することで、水城跡の全貌を体感できることになり、「さいふまいり」「大宰府関連史跡の継承と保護」にみる歴史的風致の維持向上へ寄与する。

■新旧対照表

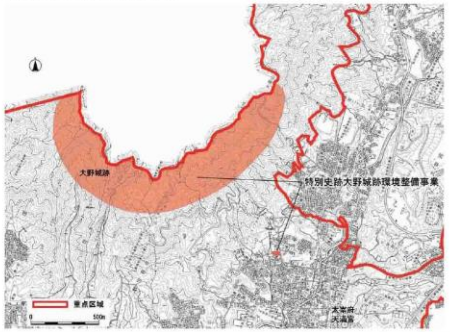
新

(P172)

事業名	ア－⑨ 特別史跡大野城跡環境整備事業
整備主体	福岡県、太宰府市
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	平成 20 年度～令和 14 年度（2008 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、特別史跡大野城跡 
事業概要	平成 20 年（2008）度から実施している土塁の環境整備について、今後は増長天西側土塁修理および環境整備、増長天礎石群の環境整備を実施し、順次、土塁、石塁、礎石群の環境整備を実施する。 また、観光資源や学習の場として、追加指定された原山地区の解説広場などの環境整備を行う。  増長天地区の整備  原山地区
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大野城跡は、四王寺山に所在し今日も来訪者が絶えない「さいふまいり」の立寄り場所である。この事業を実施することで、来訪者が大野城跡について理解を深めることができ、「さいふまいり」「大宰府関連史跡の継承と保護」と一体となった歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

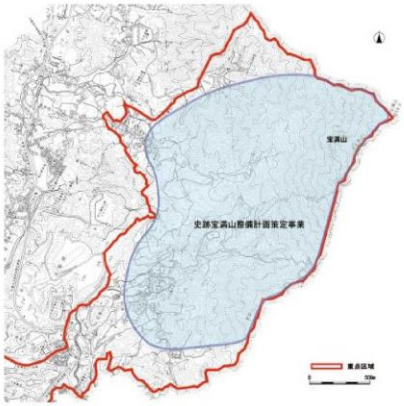
(P172)

事業名	ア－⑨ 特別史跡大野城跡環境整備事業
整備主体	福岡県、太宰府市
支援事業名	県単独事業、市単独事業
事業期間	平成 20 年度～令和 14 年度（2008 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、特別史跡大野城跡 
事業概要	平成 20 年（2008）度から実施している土塁の環境整備について、今後は増長天西側土塁修理および環境整備、増長天礎石群の環境整備を実施し、順次、土塁、石塁、礎石群の環境整備を実施する。 また、追加指定された原山地区の解説広場などの環境整備を行う。  増長天地区の整備  原山地区
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大野城跡は、四王寺山に所在し今日も来訪者が絶えない「さいふまいり」の立寄り場所である。この事業を実施することで、来訪者が大野城跡について理解を深めることができ、「さいふまいり」「大宰府関連史跡の継承と保護」と一体となった歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

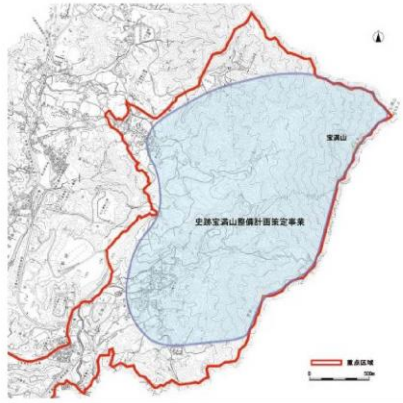
新

(P173)

事業名	ア－⑩ 史跡宝満山整備計画策定事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費
事業期間	令和 10 年度～令和 11 年度（2028 ～ 2029 年度）
事業位置	重点区域内 大字内山、北谷 
事業概要	史跡の保存と活用を適切に行うため、文化財の調査成果はもちろん、防災・減災の観点に基づき、史跡が跨いでいる筑紫野市と連携しながら、整備計画を策定する。  推定六所宝塔跡  百段ガンギ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この計画を策定することで史跡整備や周辺環境整備を実施することができ、史跡の理解を深めると共に、史跡を後世に伝えることができ、「宝満山」における歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P173)

事業名	ア－⑩ 史跡宝満山整備計画策定事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 10 年度～令和 11 年度（2028 ～ 2029 年度）
事業位置	重点区域内 大字内山、北谷 
事業概要	史跡の保存と活用を適切に行うため、文化財の調査成果はもちろん、防災・減災の観点に基づき、史跡が跨いでいる筑紫野市と連携しながら、整備計画を策定する。  推定六所宝塔跡  百段ガンギ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この計画を策定することで史跡整備や周辺環境整備を実施することができ、史跡の理解を深めると共に、史跡を後世に伝えることができ、「宝満山」における歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P174)

イ　歴史的風致の周辺環境に関する事業

事業名	イ－① 歴史の散歩道環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	平成 22 年度～令和 11 年度（2010 ～ 2029 年度）
事業位置	重点区域内、歴史の散歩道（太宰府天満宮～大宰府政庁跡～水城跡） 
事業概要	歴史の散歩道は、太宰府天満宮から水城跡までに点在する「さいふまいり」の名所を、歴史的風致を感じながら散策できる道路で、劣化した道路の改修や安全性に配慮した散策路の拡幅、そして附帯する防護柵・カーブミラーなどを景観に配慮したものに更新する。また、散策環境向上のため水辺環境や休憩施設などの整備を検討する。  散歩道沿いの防護柵  劣化している散歩道の路面
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	路面や防護柵など通りの環境を改善し、暑さや風雨にも対応した観光客や散策者に優しい散策に適した環境を整備することで、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与するとともに、来訪者向けの散策ネットワーク向上を図る。

旧

(P174)

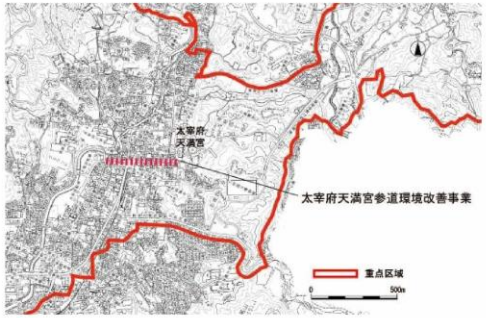
イ　歴史的風致の周辺環境に関する事業

事業名	イ－① 歴史の散歩道環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業
事業期間	平成 22 年度～令和 11 年度（2010 ～ 2029 年度）
事業位置	重点区域内、歴史の散歩道（太宰府天満宮～大宰府政庁跡～水城跡） 
事業概要	歴史の散歩道は、太宰府天満宮から水城跡までに点在する「さいふまいり」の名所を、歴史的風致を感じながら散策できる道路で、劣化した道路の改修や安全性に配慮した散策路の拡幅、そして附帯する防護柵・カーブミラーなどを景観に配慮したものに更新する。また、散策環境向上のため水辺環境や休憩施設などの整備を検討する。  散歩道沿いの防護柵  劣化している散歩道の路面
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	路面や防護柵など通りの環境を改善し、暑さや風雨にも対応した見学者に優しい散策に適した環境を整備することで、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与するとともに、来訪者向けの散策ネットワーク向上を図る。

■新旧対照表

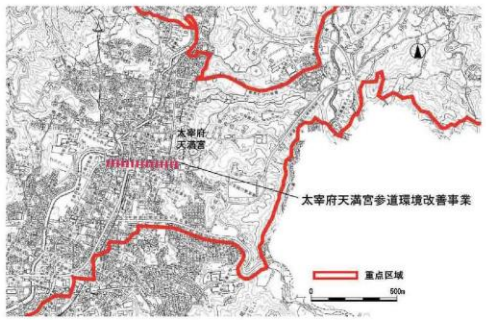
新

(P175

事業名	イ－② 太宰府天満宮参道環境改善事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和７年度～令和９年度（2025 ～ 2027 年度）
事業位置	重点区域内、宰府１～３丁目 
事業概要	太宰府天満宮参道は、平成の初めに無電柱化などの環境整備事業を実施したが、事業から 30 年以上が経過し、路面の石畳やタイルの傷みが目立ちはじめ、参道景観に影響が出てきており、それらの改修を行い、観光客の散策環境を整える。  太宰府天満宮参道の石畳とまち並みを隠している街路樹
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	太宰府天満宮参道のまち並みと賑わいは太宰府を代表する歴史的風致であるが、歩道や車道の路面の劣化が目立ってきている。そのため、太宰府天満宮参道全体の再整備・環境改善を図ることで、まち並みの魅力が引き出され、「神幸式」や「さいふまいり」の歴史的風致の向上に寄与することができる。

旧

(P175)

事業名	イ－② 太宰府天満宮参道環境改善事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和７年度～令和９年度（2025 ～ 2027 年度）
事業位置	重点区域内、宰府１～３丁目 
事業概要	太宰府天満宮参道は、平成の初めに無電柱化などの環境整備事業を実施したが、事業から 30 年以上が経過し、路面の石畳やタイルの傷みが目立ちはじめ、参道景観に影響が出てきており、それらの改修を行う。  太宰府天満宮参道の石畳とまち並みを隠している街路樹
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	太宰府天満宮参道のまち並みと賑わいは太宰府を代表する歴史的風致であるが、歩道や車道の路面の劣化が目立ってきている。そのため、太宰府天満宮参道全体の再整備・環境改善を図ることで、まち並みの魅力が引き出され、「神幸式」や「さいふまいり」の歴史的風致の向上に寄与することができる。

■新旧対照表

新

(P176)

事業名	イ－③ 小鳥居小路周辺環境改善事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	地域の観光資源充実のための環境整備推進事業、市単独事業
事業期間	令和 10 年度～令和 13 年度（2028 ～ 2031 年度）
事業位置	重点区域内、宰府３丁目 
事業概要	小鳥居小路から宰府宿の入口のひとつである溝尻口までの道路について、沿道にある地域活性化複合施設「太宰府館」や水路等を活かした環境整備を行い、観光客の回遊を促す。  小鳥居小路  溝尻道路
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業により小鳥居小路の歴史的風情が改善され、太宰府天満宮門前一帯の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P176)

事業名	イ－③ 小鳥居小路周辺環境改善事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 10 年度～令和 13 年度（2028 ～ 2031 年度）
事業位置	重点区域内、宰府３丁目 
事業概要	小鳥居小路から宰府宿の入口のひとつである溝尻口までの道路について、沿道にある地域活性化複合施設「太宰府館」や水路等を活かした環境整備を図る。  小鳥居小路  溝尻道路
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業により小鳥居小路の歴史的風情が改善され、太宰府天満宮門前一帯の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P177)

事業名	イ－④ 朱雀大路修景整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和５年度～令和６年度（2023 ～ 2024 年度）
事業位置	重点区域内、朱雀４丁目　朱雀６丁目 
事業概要	県事業として整備が進められている県道観世音寺二日市線の道路について、整備事業と連動し、神幸式の経路のどんかん道である古代の朱雀大路や「さいふまいり」の名所「幸橋」の顕在化を行い、観光客の回遊性向上を図る。  整備完了部分  未整備部分
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	太宰府天満宮の神幸式大祭の道（通称：どんかん道）は、一般道と変わらない施工がなされ、秋の大祭の時のみ、どんかん道であることが顕在化する。この点を改善し、古代の朱雀大路を踏襲するどんかん道を整備し顕在化することで、「神幸式」はもちろん「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P177)

事業名	イ－④ 朱雀大路修景整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業
事業期間	令和５年度～令和６年度（2023 ～ 2024 年度）
事業位置	重点区域内、朱雀４丁目　朱雀６丁目 
事業概要	県事業として整備が進められている県道観世音寺二日市線の道路について、整備事業と連動し、神幸式の経路のどんかん道である古代の朱雀大路を顕在化する。また、さいふまいりの名所「幸橋」の顕在化も図る。  整備完了部分  未整備部分
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	太宰府天満宮の神幸式大祭の道（通称：どんかん道）は、一般道と変わらない施工がなされ、秋の大祭の時のみ、どんかん道であることが顕在化する。この点を改善し、古代の朱雀大路を踏襲するどんかん道を整備し顕在化することで、「神幸式」はもちろん「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P178)

事業名	イ－⑤日田街道修景整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和９年度～令和 12 年度（2027 ～ 2030 年度）
事業位置	重点区域内 国分２・３丁目（国分地区） 坂本１丁目（関屋地区） 通古賀２・５丁目（通古賀地区） 
事業概要	街道沿いに設置している防護柵・カーブミラー等を景観に配慮したものに改修する。また、国分地区については、かつてあった松並木を復元する。  日田街道沿いの防護柵の現状
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	街道の雰囲気を残す関屋地区や通古賀地区の防護柵等を改善することで街道を顕在化することができる。また、かつてあった松並木を復元することにより歴史的風情を取り戻し、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与すると共に観光客の周遊を促す。

旧

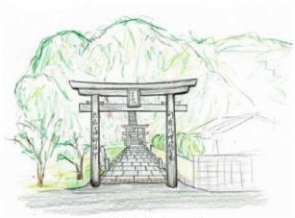
(P178)

事業名	イ－⑤日田街道修景整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和９年度～令和 12 年度（2027 ～ 2030 年度）
事業位置	重点区域内 国分２・３丁目（国分地区） 坂本１丁目（関屋地区） 通古賀２・５丁目（通古賀地区） 
事業概要	街道沿いに設置している防護柵・カーブミラー等を景観に配慮したものに改修する。また、国分地区については、かつてあった松並木を復元する。  日田街道沿いの防護柵の現状
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	街道の雰囲気を残す関屋地区や通古賀地区の防護柵等を改善することで街道を顕在化することができる。また、かつてあった松並木を復元することにより歴史的風情を取り戻し、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与することができる。

■新旧対照表

新

(P179)

事業名	イ－⑥ 日吉神社通路環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和６年度～令和７年度（2024 ～ 2025 年度）
事業位置	重点区域内、観世音寺５丁目 1108 の一部 
事業概要	歴史の散歩道から日吉神社までの市道の美装化を行い、歴史の散歩道からの観光客の誘客を図る。  日吉神社前の通路  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史の散歩道沿いの鳥居から石段下の鳥居までは、集落の一般道であるが、観世音寺から日吉神社に向かう参道的要素を持ち得ている。これを美装化することにより、観世音寺・歴史の散歩道・日吉神社に一体感が生まれ、観世音寺周辺一帯の歴史的風致を向上することができる。

旧

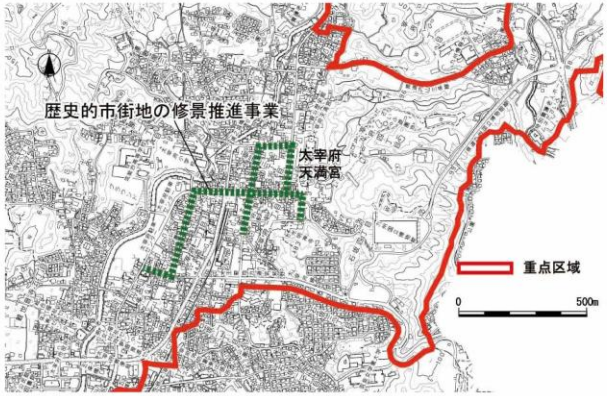
(P179)

事業名	イ－⑥ 日吉神社通路環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和６年度～令和７年度（2024 ～ 2025 年度）
事業位置	重点区域内、観世音寺５丁目 1108 の一部 
事業概要	歴史の散歩道から日吉神社までの市道の美装化を行う。  日吉神社前の通路  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史の散歩道沿いの鳥居から石段下の鳥居までは、集落の一般道であるが、観世音寺から日吉神社に向かう参道的要素を持ち得ている。これを美装化することにより、観世音寺・歴史の散歩道・日吉神社に一体感が生まれ、観世音寺周辺一帯の歴史的風致を向上することができる。

■新旧対照表

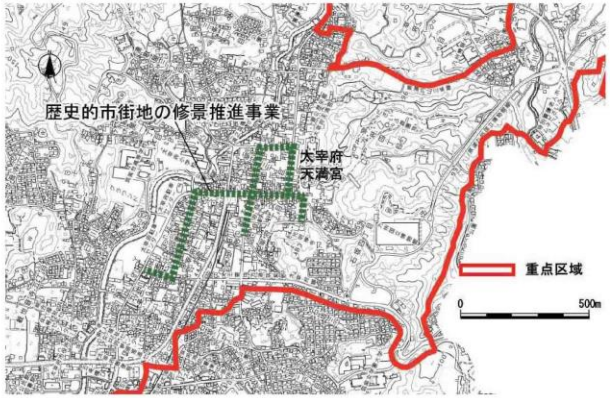
新

(P180)

事業名	イ－⑦ 歴史的市街地の修景推進事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	平成 28 年度～令和 14 年度（2016 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、参道・小鳥居小路・溝尻道路・宮町通り・新町通り・横町 
事業概要	歴史的風致やまち並みを阻害している建造物や駐車場等の修景や除却を行う。  修景前　修景後
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この修景事業を行うことで、歴史的風致の周辺環境の改善を図ることができ、歴史的風致の維持向上に資するとともに、まち並みの魅力向上にも繋がり、国内の観光客はもちろん訪日外国人の回遊性向上に期待できる。

旧

(P180)

事業名	イ－⑦ 歴史的市街地の修景推進事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業
事業期間	平成 28 年度～令和 14 年度（2016 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、参道・小鳥居小路・溝尻道路・宮町通り・新町通り・横町 
事業概要	歴史的風致やまち並みを阻害している建築物等の修景や除却を行う。  修景前　修景後
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この修景事業を行うことで、歴史的風致の周辺環境の改善を図ることができ、歴史的風致の維持向上に資するとともに、まち並みの魅力向上にも繋がり、国内の観光客はもちろん訪日外国人の回遊性向上に期待できる。

■新旧対照表

新

(P182)

事業名	イ－⑨ 四王寺山周辺環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（効果促進事業）、展示林事業交付金
事業期間	平成 23 年度～令和 14 年度（2011 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内 四王寺山南麓 
事業概要	四王寺山南麓の森林や「市民の森」に進行している竹林を伐採しながら、計画的に樹木の伐採・剪定などの環境整理を行う。また、森林内に設置されているベンチや案内板などの施設を改修する。  参詣道からみえる竹林  「市民の森」の荒れた森
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	「さいふまいり」の名所である四王寺山を適切に管理することで、里山景観が復活し、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

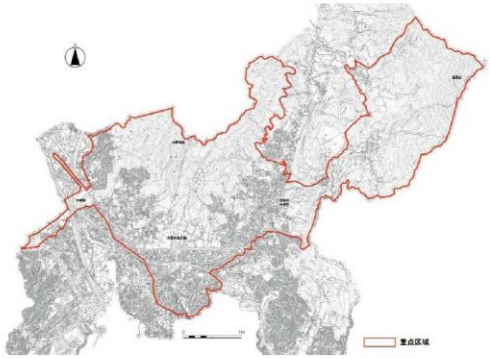
(P182)

事業名	イ－⑨ 四王寺山周辺環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（効果促進事業）、市単独事業
事業期間	平成 23 年度～令和 14 年度（2011 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内 四王寺山南麓 
事業概要	四王寺山南麓の森林や「市民の森」に進行している竹林を伐採しながら、計画的に樹木の伐採・剪定などの環境整理を行う。また、森林内に設置されているベンチや案内板などの施設を改修する。  参詣道からみえる竹林  「市民の森」の荒れた森
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	「さいふまいり」の名所である四王寺山を適切に管理することで、里山景観が復活し、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

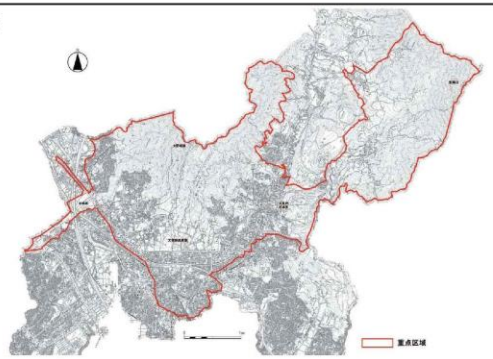
新

(P183)

事業名	イ－⑩ 大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和５年度～令和 14 年度（2023 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域全域 
事業概要	大宰府関連史跡や史跡宝満山に、観光客を誘導する案内板や誘導板を設置する。また、既設の老朽化した誘導板や解説板を外国語も併記するユニバーサルデザイン化した解説板に更新する。  大宰府跡や宝満山にある老朽化した木製解説板
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施し、回遊性の高いネットワークを形成し、歴史的風致を活かしたまちづくりを推進することで、「さいふまいり」「宝満山」「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

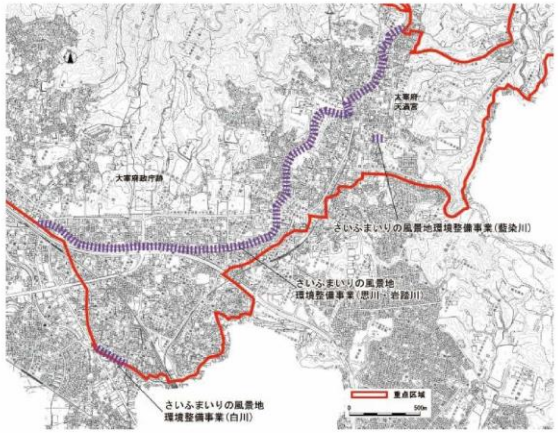
(P183)

事業名	イ－⑩ 大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業
事業期間	令和５年度～令和 14 年度（2023 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域全域 
事業概要	大宰府関連史跡や史跡宝満山に、来訪者を誘導する案内板や誘導板を設置する。また、既設の老朽化した誘導板や解説板をユニバーサルデザイン化した解説板に更新する。  大宰府跡や宝満山にある老朽化した木製解説板
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施し、回遊性の高いネットワークを形成し、歴史的風致を活かしたまちづくりを推進することで、「さいふまいり」「宝満山」「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

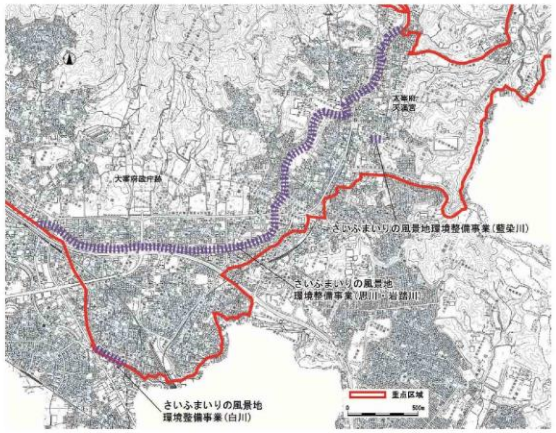
新

(P184)

事業名	イ－⑪ さいふまいりの風景地環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和 11 年度～令和 14 年度（2029 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、御笠川、鷺田川、藍染川 
事業概要	さいふまいりの風景地であった思川･岩踏川（御笠川）、白川（鷺田川）、藍染川沿岸の防護柵・カーブミラーや散策路などを景観に配慮したものに改修する。また、河川に架かる橋梁の欄干などの塗装補修を実施する。さらに、岩踏川の由来となった岩盤の顕在化を行う。 このことにより景観の向上による観光客の回遊性向上を図る。  思川　岩踏川　鷺田川
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	劣化した橋梁の欄干や河川沿岸の防護柵・カーブミラーや散策路等を改修することで、景観が改善され、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

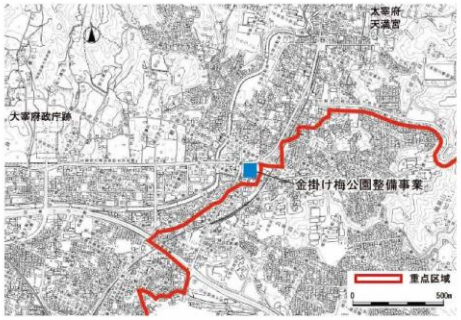
(P184)

事業名	イ－⑪ さいふまいりの風景地環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 11 年度～令和 14 年度（2029 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内、御笠川、鷺田川、藍染川 
事業概要	さいふまいりの風景地であった思川･岩踏川（御笠川）、白川（鷺田川）、藍染川沿岸の防護柵・カーブミラーや散策路などを景観に配慮したものに改修する。また、河川に架かる橋梁の欄干などの塗装補修を実施する。さらに、岩踏川の由来となった岩盤の顕在化を図る。  思川　岩踏川　鷺田川
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	劣化した橋梁の欄干や河川沿岸の防護柵・カーブミラーや散策路等を改修することで、景観が改善され、「さいふまいり」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

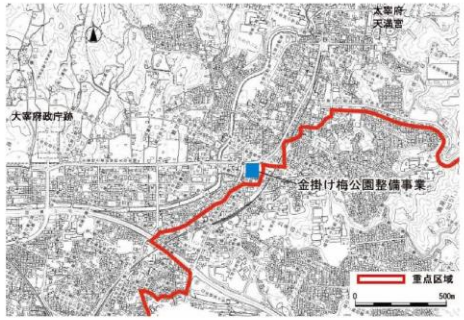
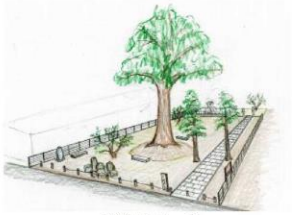
新

(P185)

事業名	イ－⑫ 金掛け梅公園整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
事業期間	令和７年度～令和８年度（2025 ～ 2026 年度）
事業位置	重点区域内 五条２丁目 2459-4 
事業概要	中世の金掛け梅伝承地において、神幸式大祭ならびにさいふまいりの歴史的風致を向上するための解説板やベンチの整備、樹木の剪定を行い、オープンスペースとして公園整備を行う。  金掛け梅公園整備予定地  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	対象地は、室町時代からの六座のひとつ米屋座であった古川家の邸宅があった地であり、さいふまいりの遊山の地「金掛け梅」の伝承地である。そこで金掛け梅伝承地としての名所の雰囲気を取り戻す環境整備を実施することで、「神幸式」や「さいふまいり」などの歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P185)

事業名	イ－⑫ 金掛け梅公園整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和７年度～令和８年度（2025 ～ 2026 年度）
事業位置	重点区域内 五条２丁目 2459-4 
事業概要	中世の金掛け梅伝承地において、神幸式大祭ならびにさいふまいりの歴史的風致を向上するための解説板やベンチの整備、樹木の剪定を行い、オープンスペースとして公園整備を行う。  金掛け梅公園整備予定地  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	対象地は、室町時代からの六座のひとつ米屋座であった古川家の邸宅があった地であり、さいふまいりの遊山の地「金掛け梅」の伝承地である。そこで金掛け梅伝承地としての名所の雰囲気を取り戻す環境整備を実施することで、「神幸式」や「さいふまいり」などの歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P186)

事業名	イ－⑬ 苅萱の関跡環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和９年度～令和 10 年度（2027 ～ 2028 年度）
事業位置	重点区域内 坂本１丁目 
事業概要	苅萱関跡に四ヶ国語対応の解説板を設置すると共に、前面の道路部分の路面を修景し、苅萱関跡を顕在化させ、さいふまいりの名所の再生を図り、観光客の回遊を促す。  苅萱の関跡の現状
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	苅萱関跡はかつては「さいふまいり」の名所として知られていたが、現在は知らない人も多くなっている。今回の事業により、名所として顕在化を図ることで、「さいふまいり」の歴史的風致の向上に寄与する。

旧

(P186)

事業名	イ－⑬ 苅萱の関跡環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和９年度～令和 10 年度（2027 ～ 2028 年度）
事業位置	重点区域内 坂本１丁目 
事業概要	苅萱関跡に四ヶ国語対応の解説板を設置すると共に、前面の道路部分の路面を修景し、苅萱関跡を顕在化させる。  苅萱の関跡の現状
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	苅萱関跡はかつては「さいふまいり」の名所として知られていたが、現在は知らない人も多くなっている。今回の事業により、名所として顕在化を図ることで、「さいふまいり」の歴史的風致の向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P187)

事業名	イ－⑭ 朱雀大路解説広場整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和６年度～令和７年度（2024 ～ 2025 年度）
事業位置	重点区域内 朱雀４丁目 
事業概要	古代の朱雀大路を踏襲する県道観世音寺二日市線の拡幅工事に伴う残地を朱雀大路の解説広場に整備し、解説板やベンチなどを設置することで、客館跡から大宰府政庁跡への観光客の回遊を促す。  事業予定地現状  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施することにより、古代の朱雀大路と太宰府天満宮神幸式の関係についての理解が深まり、周辺環境を含めた「神幸式」における歴史的風致の維持向上に寄与することができる。

旧

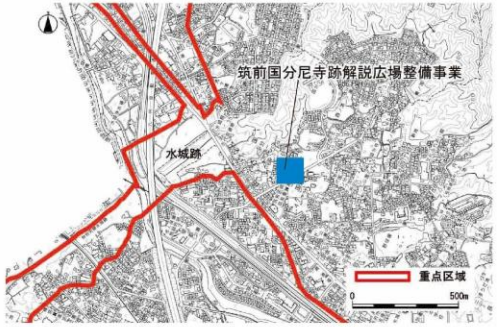
(P187)

事業名	イ－⑭ 朱雀大路解説広場整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和６年度～令和７年度（2024 ～ 2025 年度）
事業位置	重点区域内 朱雀４丁目 
事業概要	古代の朱雀大路を踏襲する県道観世音寺二日市線の拡幅工事に伴う残地を朱雀大路の解説広場に整備し、解説板やベンチなどを設置する。  事業予定地現状  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施することにより、古代の朱雀大路と太宰府天満宮神幸式の関係についての理解が深まり、周辺環境を含めた「神幸式」における歴史的風致の維持向上に寄与することができる。

■新旧対照表

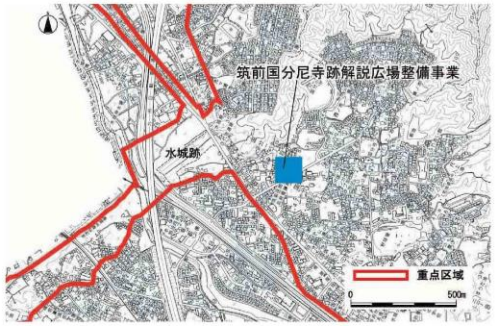
新

(P188)

事業名	イ－⑮ 筑前国分尼寺跡解説広場整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和 12 年度～令和 13 年度（2030 ～ 2031 年度）
事業位置	重点区域内 国分２丁目 
事業概要	筑前国分尼寺跡の一画に解説広場を整備し、周辺で出土した礎石を移設し、解説板を設置し、学習の場と観光名所としての充実を図る。  筑前国分尼寺跡周辺  筑前国分尼寺跡の礎石
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	周辺一帯は、礎石の出土や発掘調査により、筑前国分尼寺跡として知られているが、現在は住宅化している。そこで解説広場を整備し顕在化を図ることで、「大宰府関連史跡の保護と継承」に関する歴史的風致の向上に寄与する。

旧

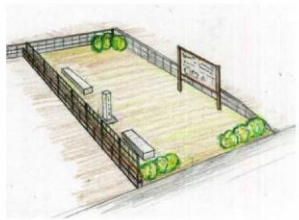
(P188)

事業名	イ－⑮ 筑前国分尼寺跡解説広場整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 12 年度～令和 13 年度（2030 ～ 2031 年度）
事業位置	重点区域内 国分２丁目 
事業概要	筑前国分尼寺跡の一画に解説広場を整備し、周辺で出土した礎石を移設し、解説板を設置する。  筑前国分尼寺跡周辺  筑前国分尼寺跡の礎石
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	周辺一帯は、礎石の出土や発掘調査により、筑前国分尼寺跡として知られているが、現在は住宅化している。そこで解説広場を整備し顕在化を図ることで、「大宰府関連史跡の保護と継承」に関する歴史的風致の向上に寄与する。

■新旧対照表

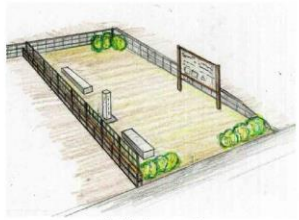
新

(P189)

事業名	イ－⑯ 御笠団印出土地解説広場整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和 10 年度～令和 12 年度（2028 ～ 2030 年度）
事業位置	重点区域内 坂本３丁目 
事業概要	御笠団印出土地周辺を解説広場として整備し、解説板の改修を行い、ベンチ等を設置し、学習の場と観光名所としての充実を図る。  御笠団印出土地の現状  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	出土地は、歴史の散歩道沿いにありながら、住宅地に囲まれている。解説広場として整備し顕在化することにより、大宰府関連史跡への理解が深まり、「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の向上に寄与する。

旧

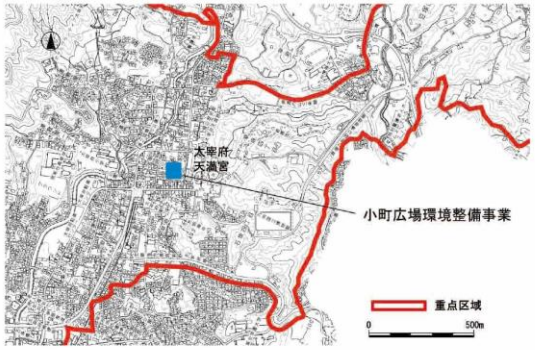
(P189)

事業名	イ－⑯ 御笠団印出土地解説広場整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 10 年度～令和 12 年度（2028 ～ 2030 年度）
事業位置	重点区域内 坂本３丁目 
事業概要	御笠団印出土地周辺を解説広場として整備し、解説板の改修を行い、ベンチ等を設置する。  御笠団印出土地の現状  整備イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	出土地は、歴史の散歩道沿いにありながら、住宅地に囲まれている。解説広場として整備し顕在化することにより、大宰府関連史跡への理解が深まり、「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P190)

事業名	イ－⑰ 小町広場環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和 13 年度～令和 14 年度（2031 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内 宰府３丁目 
事業概要	小町広場を多目的に利用できるよう広場内や出入口を改修する。  小町広場の現状
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	門前町の一画にある小町広場を整備することにより、門前の人々のもてなしの場をつくり、観光客の回遊性を高めることで、門前の賑わいの創出に繋がり、「さいふまいり」の歴史的風致の向上に寄与する。

旧

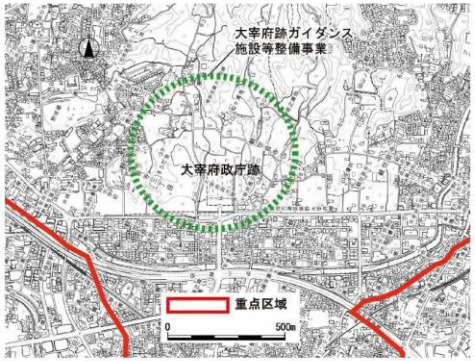
(P190)

事業名	イ－⑰ 小町広場環境整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 13 年度～令和 14 年度（2031 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内 宰府３丁目 
事業概要	小町広場を多目的に利用できるよう広場内や出入口を改修する。  小町広場の現状
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	門前町の一画にある小町広場を整備することにより、門前の人々のもてなしの場をつくり、散策者の回遊性を高めることで、門前の賑わいの創出に繋がり、「さいふまいり」の歴史的風致の向上に寄与する。

■新旧対照表

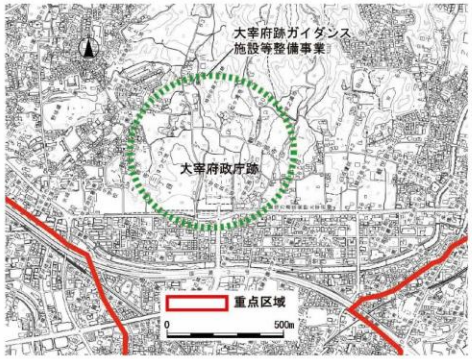
新

(P191)

事業名	イ－⑱ 大宰府跡ガイダンス施設等整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費、市単独事業
事業期間	令和 12 年度～令和 13 年度（2030 ～ 2031 年度）
事業位置	重点区域内 観世音寺３丁目 
事業概要	特別史跡大宰府跡周辺に、大宰府関連史跡を身近に感じることができるガイダンス施設を整備する。  イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内には九州国立博物館があるが、大宰府関連史跡に特化した展示施設ではない。また、大宰府展示館は遺構覆屋として機能しているものの、ユニバーサルデザイン化など多様な人々に対応する現地でのガイダンス機能が不十分である。よって、特別史跡大宰府跡に見合うガイダンス施設を整備することで「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

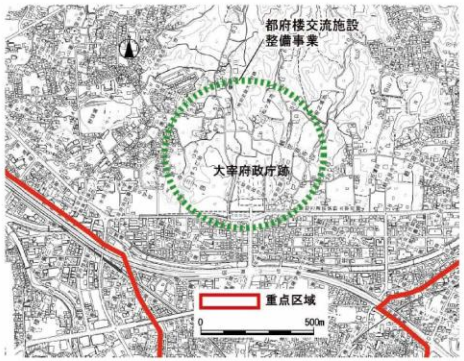
(P191)

事業名	イ－⑱ 大宰府跡ガイダンス施設等整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 12 年度～令和 13 年度（2030 ～ 2031 年度）
事業位置	重点区域内 観世音寺３丁目 
事業概要	特別史跡大宰府跡周辺に、大宰府関連史跡を身近に感じることができるガイダンス施設を整備する。  イメージ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内には九州国立博物館があるが、大宰府関連史跡に特化した展示施設ではない。また、大宰府展示館は遺構覆屋として機能しているものの、ユニバーサルデザイン化など多様な人々に対応する現地でのガイダンス機能が不十分である。よって、特別史跡大宰府跡に見合うガイダンス施設を整備することで「大宰府関連史跡の継承と保護」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

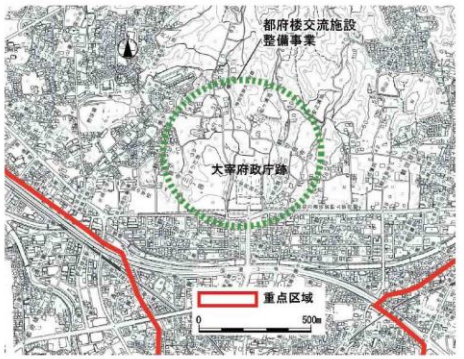
新

(P192)

事業名	イ－⑲ 都府楼交流施設整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	地域の観光資源充実のための環境整備推進事業
事業期間	令和 13 年度～令和 14 年度（2031 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内 観世音寺４丁目 
事業概要	大宰府関連史跡に携わる史跡解説員等との交流を深める場を兼ねた、大宰府史跡を訪れた観光客のための休憩所を整備する。 
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施することで、史跡地の観光客や散策者へのもてなし、市民による「大宰府史跡の継承と保護」に対する意識向上を図り、ひいては歴史的風致の維持向上に寄与することになる。

旧

(P192)

事業名	イ－⑲ 都府楼交流施設整備事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和 13 年度～令和 14 年度（2031 ～ 2032 年度）
事業位置	重点区域内 観世音寺４丁目 
事業概要	大宰府跡周辺に大宰府関連史跡に携わる史跡解説員や史跡を管理する人たち等が集い交流を深める施設を整備する。 
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業を実施することで、来訪者へのもてなし、市民による「大宰府史跡の継承と保護」に対する意識向上を図り、ひいては歴史的風致の維持向上に寄与することになる。

■新旧対照表

新

(P193)

ウ　文化遺産の継承と普及啓発活動に関する事業

事業名	ウ－① 四王寺山の環境保存活用事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（効果促進事業）、森林環境譲与税
事業期間	平成 23 年度～令和 14 年度（2011 ～ 2032 年度）
事業位置	四王寺山一帯
事業概要	四王寺山の自然環境の維持向上に資する民間活動の育成。  ワークショップ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡地やその周辺を含めた緑地の市民管理の仕組みや内容を検討し、既存の民間活動団体への参画要請や育成を行い、「さいふまいり」の風景の維持と歴史的風致を活用したまちづくりの推進を図ることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P193)

ウ　文化遺産の継承と普及啓発活動に関する事業

事業名	ウ－① 四王寺山の環境保存活用事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（効果促進事業）、市単独事業
事業期間	平成 23 年度～令和 14 年度（2011 ～ 2032 年度）
事業位置	四王寺山一帯
事業概要	四王寺山の自然環境の維持向上に資する民間活動の育成。  ワークショップ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡地やその周辺を含めた緑地の市民管理の仕組みや内容を検討し、既存の民間活動団体への参画要請や育成を行い、「さいふまいり」の風景の維持と歴史的風致を活用したまちづくりの推進を図ることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P196)

事業名	ウ－④ 民俗文化財調査普及事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、市単独事業
事業期間	令和６年度～令和 14 年度（2024 ～ 2032 年度）
事業位置	太宰府市全域
事業概要	伝統的な祭事・行事や伝統技術・産業など、必要に応じて学識経験者等の指導･助言を得ながら、有形･無形の民俗文化財の調査を実施し、リーフレット等の刊行物の作成や映像記録等の作成を行う。  無形民俗文化財の調査
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業により、行事等に関わる人々はその価値を再認識すると共に、その情報を発信することで、多くの人々が知る機会が増え、行事等の継承につながり、「農耕祭事」や「門前の伝統行事」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

旧

(P196)

事業名	ウ－④ 民俗文化財調査普及事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和６年度～令和 14 年度（2024 ～ 2032 年度）
事業位置	太宰府市全域
事業概要	伝統的な祭事・行事や伝統技術・産業など、必要に応じて学識経験者等の指導･助言を得ながら、有形･無形の民俗文化財の調査を実施し、リーフレット等の刊行物の作成や映像記録等の作成を行う。  無形民俗文化財の調査
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業により、行事等に関わる人々はその価値を再認識すると共に、その情報を発信することで、多くの人々が知る機会が増え、行事等の継承につながり、「農耕祭事」や「門前の伝統行事」の歴史的風致の維持向上に寄与する。

■新旧対照表

新

(P198)

事業名	ウ－⑥ 太宰府の絵師関係資料調査普及事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金（効果促進事業）
事業期間	令和６年度～令和 14 年度（2024 ～ 2032 年度）
事業位置	太宰府市全域
事業概要	近世・近代とさいふまいりの名所や恵比寿神を描いてきた太宰府の町絵師の資料を調査し、展示や出前講座などの普及啓発活動を実施する。  絵師調査風景  市民向け講座
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業によって、太宰府の歴史的風致形成の一翼を担った町絵師の文化交流を理解することができ、建造物等の修理・修景やその環境整備、神社行事の裏付けを得ることができる。また、その成果を展示や出前講座などで普及啓発することで、まちづくりに対する住民理解や意識向上にも繋がり、「さいふまいり」「門前の伝統行事」「農耕祭事」などの歴史的風致の向上に寄与することができる。

旧

(P198)

事業名	ウ－⑥ 太宰府の絵師関係資料調査普及事業
整備主体	太宰府市
支援事業名	市単独事業
事業期間	令和６年度～令和 14 年度（2024 ～ 2032 年度）
事業位置	太宰府市全域
事業概要	近世・近代とさいふまいりの名所や恵比寿神を描いてきた太宰府の町絵師の資料を調査し、展示や出前講座などの普及啓発活動を実施する。  絵師調査風景  市民向け講座
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	この事業によって、太宰府の歴史的風致形成の一翼を担った町絵師の文化交流を理解することができ、建造物等の修理・修景やその環境整備、神社行事の裏付けを得ることができる。また、その成果を展示や出前講座などで普及啓発することで、まちづくりに対する住民理解や意識向上にも繋がり、「さいふまいり」「門前の伝統行事」「農耕祭事」などの歴史的風致の向上に寄与することができる。

■新旧対照表

新

(P202)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
15	不老家店舗 【※15号】		宰府2丁目	個人	明治37年 (1904)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
16	木村家住宅 【※16号】		宰府1丁目	個人	明治中期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
17	泉屋 （大野家住宅） 【※17号】		宰府2丁目	個人	江戸末期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
18	連歌屋好古亭 【※18号】		宰府3丁目	太宰府天満宮	大正15年 (1926)		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】
19	光明寺本堂 【※19号】		宰府2丁目	光明寺	安政3年 (1856)	市指定有形文化財	【2. さいふまいり】
20	小野家店舗 【※20号】		宰府2丁目	個人	大正10年 (1921)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
21	陶山家籾蔵 【※21号】		通古賀5丁目	個人	大正7年 (1918)		【2. さいふまいり】 【6. 農耕祭事】
22	観世音寺鐘楼		観世音寺5丁目	観世音寺	昭和中期以前		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【5. 除夜の鐘】 【8. 大宰府史跡】

旧

(P202)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
15	不老家店舗 【※15号】		宰府2丁目	個人	明治37年 (1904)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
16	木村家住宅 【※16号】		宰府1丁目	個人	明治中期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
17	泉屋 （大野家住宅） 【※17号】		宰府2丁目	個人	江戸末期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
18	連歌屋好古亭 【※18号】		宰府3丁目	太宰府天満宮	大正15年 (1926)		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】
19	光明寺本堂 【※19号】		宰府2丁目	光明寺	安政3年 (1856)		【2. さいふまいり】
20	小野家店舗 【※20号】		宰府2丁目	個人	大正10年 (1921)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
21	陶山家籾蔵 【※21号】		通古賀5丁目	個人	大正7年 (1918)		【2. さいふまいり】 【6. 農耕祭事】
22	観世音寺鐘楼		観世音寺5丁目	観世音寺	昭和中期以前		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【5. 除夜の鐘】 【8. 大宰府史跡】

■新旧対照表

新

(P203)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
23	観世音寺宝蔵		観世音寺5丁目	観世音寺	昭和34年(1959)	国登録文化財	【2. さいふまいり】 【5. 除夜の鐘】 【8. 大宰府史跡】
24	戒壇院本堂・鐘楼		観世音寺5丁目	戒壇院	本堂…延宝8年(1680) 鐘楼…宝永元年(1704)	県指定有形文化財	【2. さいふまいり】 【8. 大宰府史跡】
25	光明寺山門・観音堂		宰府2丁目	光明寺	山門…江戸中期 観音堂…江戸後期		【2. さいふまいり】
26	竈門神社下宮（本殿・幣殿・拝殿）		大字内山	竈門神社	昭和2～6年(1927～1931)		【6. 農耕祭事】 【7. 宝満山】
27	竈門神社上宮		大字北谷	竈門神社	昭和27年(1952)		【7. 宝満山】
28	竈門神社遙拝所（本殿・拝殿）		大字北谷	竈門神社	近代		【6. 農耕祭事】 【7. 宝満山】
29	関屋の石造鳥居		坂本1丁目	太宰府天満宮	文久２年(1862)		【2. さいふまいり】

旧

(P203)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
23	観世音寺宝蔵		観世音寺5丁目	観世音寺	昭和34年(1959)		【2. さいふまいり】 【5. 除夜の鐘】 【8. 大宰府史跡】
24	戒壇院本堂・鐘楼		観世音寺5丁目	戒壇院	本堂…延宝8年(1680) 鐘楼…宝永元年(1704)	県指定有形文化財	【2. さいふまいり】 【8. 大宰府史跡】
25	光明寺山門・観音堂		宰府2丁目	光明寺	山門…江戸中期 観音堂…江戸後期		【2. さいふまいり】
26	竈門神社下宮（本殿・幣殿・拝殿）		大字内山	竈門神社	昭和2～6年(1927～1931)		【6. 農耕祭事】 【7. 宝満山】
27	竈門神社上宮		大字北谷	竈門神社	昭和27年(1952)		【7. 宝満山】
28	竈門神社遙拝所（本殿・拝殿）		大字北谷	竈門神社	近代		【6. 農耕祭事】 【7. 宝満山】
29	関屋の石造鳥居		坂本1丁目	太宰府天満宮	文久２年(1862)		【2. さいふまいり】

■新旧対照表

新

(P205)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
37	松尾家店舗 【※22号】		宰府2丁目	個人	大正末期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
38	大野屋 （手島家住宅）		宰府2丁目	個人	江戸末期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
39	松屋 （栗原家住宅）		宰府2丁目	個人	江戸		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
40	日田屋 （安恒家住宅）		宰府3丁目	個人	明治10年 (1877)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
41	大和屋 （佐藤家住宅）		宰府3丁目	個人	江戸		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
42	古川家住宅 【※23号】		宰府3丁目	個人	明治29年 (1896)		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
43	江崎家住宅		宰府3丁目	個人	昭和初期		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
44	吉村家住宅		宰府3丁目	個人	昭和26年 (1951)		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】

旧

(P205)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
37	松尾家店舗		宰府3丁目	個人	大正末期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
38	大野屋 （手島家住宅）		宰府2丁目	個人	江戸末期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
39	松屋 （栗原家住宅）		宰府2丁目	個人	江戸		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
40	日田屋 （安恒家住宅）		宰府3丁目	個人	明治10年 (1877)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
41	大和屋 （佐藤家住宅）		宰府3丁目	個人	江戸		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
42	古川家住宅		宰府3丁目	個人	明治29年 (1896)		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
43	江崎家住宅		宰府3丁目	個人	昭和初期		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
44	吉村家住宅		宰府3丁目	個人	昭和26年 (1951)		【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】

■新旧対照表

新

(P206)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
45	宮本家住宅		宰府3丁目	個人	大正10年(1921)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】
46	手島家住宅		宰府2丁目	個人	明治38年(1905)		【2. さいふまいり】 【4. 梅】
47	水城家店舗		宰府2丁目	個人	明治中期		【2. さいふまいり】 【4. 梅】
48	北崎家住宅 【※2025年解体】		宰府2丁目	個人	明治中期		【2. さいふまいり】 【4. 梅】
49	萱島家住宅		宰府1丁目	個人	近代		【2. さいふまいり】
50	加納家住宅 【※2025年解体】		宰府2丁目	個人	明治初期		【2. さいふまいり】
51	西山家住宅 （主屋・塀）		宰府1丁目	個人	明治前期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
52	齋藤家住宅		宰府1丁目	個人	明治前期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】

旧

(P206)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
45	宮本家住宅		宰府3丁目	個人	大正10年(1921)		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】
46	手島家住宅		宰府2丁目	個人	明治38年(1905)		【2. さいふまいり】 【4. 梅】
47	水城家店舗		宰府2丁目	個人	明治中期		【2. さいふまいり】 【4. 梅】
48	北崎家住宅		宰府2丁目	個人	明治中期		【2. さいふまいり】 【4. 梅】
49	萱島家住宅		宰府1丁目	個人	近代		【2. さいふまいり】
50	加納家住宅		宰府2丁目	個人	明治初期		【2. さいふまいり】
51	西山家住宅 （主屋・塀）		宰府1丁目	個人	明治前期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】
52	齋藤家住宅		宰府1丁目	個人	明治前期		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【3. 門前の行事】 【4. 梅】

■新旧対照表

新

(P207)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
53	髙田家住宅 【※24号】		宰府1丁目	個人	19世紀中頃		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【4. 梅】
54	大藪家土塀・門		五条1丁目	個人	明治時代		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【4. 梅】
55	吐月叢 (冨永家住宅)		観世音寺4丁目	個人	昭和20年以前		【6. 農耕祭事】

旧

(P207)

番号	名称	写真	所在地	所有者	築年	指定等の区分	関連する歴史的風致
53	高田家住宅		宰府1丁目	個人	19世紀中頃		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【4. 梅】
54	大藪家土塀・門		五条1丁目	個人	明治時代		【1. 神幸式】 【2. さいふまいり】 【4. 梅】
55	吐月叢 (冨永家住宅)		観世音寺4丁目	個人	昭和20年以前		【6. 農耕祭事】

■新旧対照表

新

（巻末資料）

太宰府市内の指定・登録文化財一覧

国指定文化財　　令和8年3月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	太宰府天満宮末社志賀社本殿	宰府4丁目	太宰府天満宮	明治40年5月27日	室町
〃	太宰府天満宮本殿	宰府4丁目	太宰府天満宮	明治40年5月27日	桃山
〃	七重塔	朱雀2丁目	太宰府市	昭和29年3月20日	鎌倉
〃	多宝千仏石幢	石坂4丁目	九州国立博物館	昭和10年5月13日	(遼)
彫　刻	木造仏像（伝薬師如来坐像）	国分4丁目	国分寺	明治37年2月18日	室町
〃	木造阿弥陀如来坐像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造阿弥陀如来立像	石坂4丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造盧舎那仏坐像	観世音寺5丁目	戒壇院	明治37年8月29日	平安後期
〃	木造十一面観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造観音菩薩立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造観音菩薩坐像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造馬頭観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造地蔵菩薩半跏像	観世音寺5丁目	観世音寺	大正元年9月3日	平安後期
〃	木造地蔵菩薩立像	観世音寺5丁目	観世音寺	大正元年9月3日	平安後期
〃	木造不空羂索観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	木造十一面観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	木造十一面観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	木造毘沙門天立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造四天王立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造吉祥天立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造大黒天立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造舞楽面	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	石造狛犬	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
工芸(国宝)	梵鐘	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	白鳳
工　芸	毛抜形太刀	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	大正12年3月28日	平安中期
〃	太刀	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	大正元年9月3日	鎌倉
〃	銅製天蓋光心	観世音寺5丁目	観世音寺	大正元年9月3日	唐
〃	梅月蒔絵文台	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和55年6月6日	室町
書跡(国宝)	翰苑巻第卅	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和6年12月14日	唐
古文書	太宰府天満宮文書	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和57年6月15日	平安後期～江戸
考古資料	銅戈鎔范	石坂4丁目7-2	福岡県	昭和39年5月26日	弥生後期
〃	銅鉇鎔范	石坂4丁目7-2	福岡県	昭和39年5月26日	弥生後期
〃	青磁三足壺	観世音寺5丁目	個人	昭和53年6月15日	奈良後～平安
〃	鬼瓦	石坂4丁目7-2	福岡県	昭和34年12月18日	奈良前期
〃	蓮華唐花文塼	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和36年6月30日	奈良中期
記念物					
特別史跡	大宰府跡	観世音寺・坂本	太宰府市	大正10年3月3日	奈良前期
〃	水城跡	太宰府市	太宰府市	大正10年3月3日	飛鳥
〃	大野城跡	太宰府市	太宰府市	昭和7年7月23日	飛鳥
史跡	筑前国分寺跡	国分4丁目	太宰府市	大正11年10月12日	奈良
〃	国分瓦窯跡	大字国分	太宰府市	大正11年10月12日	奈良・平安
〃	観世音寺境内及び子院跡　附 老司瓦窯跡	観世音寺・坂本・国分・太宰府	太宰府市	昭和45年9月21日	奈良
〃	大宰府学校院跡	観世音寺4丁目	太宰府市	昭和45年9月21日	奈良後
〃	宝満山	内山、北谷	竈門神社ほか	平成25年10月17日	奈良～近世
天然記念物	太宰府神社のクス	宰府４丁目	太宰府天満宮	大正11年3月8日	幹周11.7m
〃	太宰府神社のヒロハチシャノキ	宰府４丁目	太宰府天満宮	昭和10年6月7日	幹周6.5m

旧

（巻末資料）

太宰府市内の指定文化財一覧

国指定文化財　　令和4年12月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	太宰府天満宮末社志賀社本殿	宰府4丁目	太宰府天満宮	明治40年5月27日	室町
〃	太宰府天満宮本殿	宰府4丁目	太宰府天満宮	明治40年5月27日	桃山
〃	七重塔	矢雀2丁目	太宰府市	昭和29年3月20日	鎌倉
〃	多宝千仏石幢	石坂4丁目	九州国立博物館	昭和10年5月13日	(遼)
彫　刻	木造仏像（伝薬師如来坐像）	国分4丁目	国分寺	明治37年2月18日	室町
〃	木造阿弥陀如来竺像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造阿弥陀如来立像	石坂4丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造盧舎那仏坐像	観世音寺5丁目	戒壇院	明治37年8月29日	平安後期
〃	木造十一面観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造観音菩薩立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造観音菩薩坐像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造馬頭観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造地蔵菩薩半跏像	観世音寺5丁目	観世音寺	大正元年9月3日	平安後期
〃	木造地蔵菩薩立像	観世音寺5丁目	観世音寺	大正元年9月3日	平安後期
〃	木造不空羂索観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	木造十一面観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	木造十一面観音立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	木造毘沙門天立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造四天王立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造吉祥天立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造大黒天立像	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	平安後期
〃	木造舞楽面	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
〃	石造狛犬	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	鎌倉
工芸(国宝)	梵鐘	観世音寺5丁目	観世音寺	明治37年2月18日	白鳳
工　芸	毛抜形太刀	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	大正12年3月28日	平安中期
〃	太刀	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	大正元年9月3日	鎌倉
〃	銅製天蓋光心	観世音寺5丁目	観世音寺	大正元年9月3日	唐
〃	梅月蒔絵文台	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和55年6月6日	室町
書跡(国宝)	翰苑巻第卅	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和6年12月14日	唐
古文書	太宰府天満宮文書	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和57年6月15日	平安後期～江戸
考古資料	銅戈鎔范	石坂4丁目7-2	福岡県	昭和39年5月26日	弥生後期
〃	銅鉇鎔范	石坂4丁目7-2	福岡県	昭和39年5月26日	弥生後期
〃	青磁三足壷	観世音寺5丁目	個人	昭和53年6月15日	奈良後～平安
〃	鬼瓦	石坂4丁目7-2	福岡県	昭和34年12月18日	奈良前期
〃	蓮華唐花文塼	宰府4丁目7-1	太宰府天満宮	昭和36年6月30日	奈良中期
記念物					
特別史跡	大宰府跡	観世音寺・坂本	太宰府市	大正10年3月3日	奈良前期
〃	水城跡	太宰府市	太宰府市	大正10年3月3日	飛鳥
〃	大野城跡	太宰府市	太宰府市	昭和7年7月23日	飛鳥
史跡	筑前国分寺跡	国分4丁目	太宰府市	大正11年10月12日	奈良
〃	国分瓦窯跡	大字国分	太宰府市	大正11年10月12日	奈良・平安
〃	観世音寺境内及び子院跡　附 老司瓦窯跡	観世音寺・坂本・国分・太宰府	太宰府市	昭和45年9月21日	奈良
〃	大宰府学校院跡	観世音寺4丁目	太宰府市	昭和45年9月21日	奈良後
〃	宝満山	内山、北谷	竈門神社ほか	平成25年10月17日	奈良～近世
天然記念物	太宰府神社のクス	宰府４丁目	太宰府天満宮	大正11年3月8日	幹周11.7m
〃	太宰府神社のヒロハチシャノキ	宰府４丁目	太宰府天満宮	昭和10年6月7日	幹周6.5m

■新旧対照表

新

（巻末資料）

県指定文化財　　令和8年3月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	観世音寺金堂及講堂	観世音寺5丁目	観世音寺	昭和32年8月13日	江戸
〃	天満宮の石造鳥居	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年10月21日	鎌倉
〃	天満宮の石造燈籠	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年10月21日	江戸
〃	戒壇院本堂	観世音寺5丁目	戒壇院	平成8年5月31日	江戸
〃	戒壇院鐘楼　附 棟札二枚、祈祷札一枚	観世音寺5丁目	戒壇院	平成12年11月1日	江戸
絵　画	北野天神縁起	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年7月26日	江戸
〃	絹本著色一遍上人画像	石坂4丁目	福岡県	昭和30年9月6日	室町
彫　刻	木造狛犬	宰府4丁目	竈門神社	昭和57年4月1日	室町
〃	木造地蔵菩薩立像　附 地蔵菩薩造像、再興銘札及び地蔵堂棟札5枚	大字北谷	北谷区	平成11年3月19日	平安後期
工　芸	銅製鰐口	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	鉄製雲版	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和33年11月13日	平安末期
〃	鶴亀文懸鏡	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	銅製麒麟並に鷺	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	江戸後期
〃	銅製神牛	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	江戸後期
〃	銅製花瓶	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	筆洗　印材	宰府4丁目	個人	昭和35年4月12日	明治
〃	太宰府天満宮飛梅柵擬宝珠　附 釘かくし	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	梵鐘（半鐘）	観世音寺5丁目	戒壇院	平成9年7月25日	江戸
〃	梵鐘	観世音寺5丁目	戒壇院	平成9年7月25日	江戸
〃	刀　　銘 筑州住左行秀鍛之	石坂4丁目	福岡県	昭和33年7月26日	江戸
考古資料	滑石硯	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年1月14日	平安後期
〃	銅製経筒	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和32年8月13日	平安後期
〃	石製経筒	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和32年8月13日	平安後期
〃	瓦経	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和30年3月5日	平安後期
〃	太宰府安養院跡五輪塔残欠	観世音寺4丁目	太宰府市	昭和37年4月19日	鎌倉
〃	蒙古碇石	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和44年5月1日	鎌倉
民俗文化財					
有形民俗文化財	宝満山山岳信仰関係資料	大字内山	竈門神社	昭和37年2月20日	江戸～昭和
〃	太宰府天満宮の力石	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	江戸
無形民俗文化財	太宰府天満宮神幸行事	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年10月21日	平安
〃	竹の曲	宰府4丁目	竹の曲保存会	昭和35年3月19日	中世
〃	鬼すべ	宰府4丁目	太宰府天満宮氏子会	昭和30年3月5日	平安
記念物					
史　跡	宮ノ本遺跡	向佐野	太宰府市	昭和56年3月5日	奈良・平安
〃	横岳崇福寺跡	白川	個人ほか	昭和35年1月12日	鎌倉
名勝	光明寺庭園	宰府２丁目	光明寺	平成26年3月14日	昭和
天然記念物	天神の森（樟）	宰府４丁目	太宰府天満宮	昭和36年1月14日	クスノキ51本

旧

（巻末資料）

県指定文化財　　令和4年12月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	観世音寺金堂及講堂	観世音寺5丁目	観世音寺	昭和32年8月13日	江戸
〃	天満宮の石造鳥居	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年10月21日	鎌倉
〃	天満宮の石造燈籠	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年10月21日	江戸
〃	戒壇院本堂	観世音寺5丁目	戒壇院	平成8年5月31日	江戸
〃	戒壇院鐘楼　附 棟札二枚、祈祷札一枚	観世音寺5丁目	戒壇院	平成12年11月1日	江戸
絵　画	北野天神縁起	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年7月26日	江戸
〃	絹本著色一遍上人画像	石坂4丁目	福岡県	昭和30年9月6日	室町
彫　刻	木造狛犬	宰府4丁目	竈門神社	昭和57年4月1日	室町
〃	木造地蔵菩薩立像　附 地蔵菩薩造像、再興銘札及び地蔵堂棟札5枚	大字北谷	北谷区	平成11年3月19日	平安後期
工　芸	銅製鰐口	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	鉄製雲版	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和33年11月13日	平安末期
〃	鶴亀文懸鏡	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	銅製麒麟並に鷺	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	江戸後期
〃	銅製神牛	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	江戸後期
〃	銅製花瓶	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	筆洗　印材	宰府4丁目	個人	昭和35年4月12日	明治
〃	太宰府天満宮飛梅柵擬宝珠　附 釘かくし	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	桃山
〃	梵鐘（半鐘）	観世音寺5丁目	戒壇院	平成9年7月25日	江戸
〃	梵鐘	観世音寺5丁目	戒壇院	平成9年7月25日	江戸
〃	刀　　銘 筑州住左行秀鍛之	石坂4丁目	福岡県	昭和33年7月26日	江戸
考古資料	滑石硯	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年1月14日	平安後期
〃	銅製経筒	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和32年8月13日	平安後期
〃	石製経筒	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和32年8月13日	平安後期
〃	瓦経	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和30年3月5日	平安後期
〃	太宰府安養院跡五輪塔残欠	観世音寺4丁目	太宰府市	昭和37年4月19日	鎌倉
〃	蒙古碇石	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和44年5月1日	鎌倉
民俗文化財					
有形民俗文化財	宝満山山岳信仰関係資料	大字内山	竈門神社	昭和37年2月20日	江戸～昭和
〃	太宰府天満宮の力石	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和37年2月20日	江戸
無形民俗文化財	太宰府天満宮神幸行事	宰府4丁目	太宰府天満宮	昭和36年10月21日	平安
〃	竹の曲	宰府4丁目	竹の曲保存会	昭和35年3月19日	中世
〃	鬼すべ	宰府4丁目	太宰府天満宮氏子会	昭和30年3月5日	平安
記念物					
史　跡	宮ノ本遺跡	向佐野	太宰府市	昭和56年3月5日	奈良・平安
〃	横岳崇福寺跡	白川	個人ほか	昭和35年1月12日	鎌倉
名勝	光明寺庭園	宰府２丁目	光明寺	平成26年3月14日	昭和
天然記念物	天神の森（樟）	宰府４丁目	太宰府天満宮	昭和36年1月14日	クスノキ51本

■新旧対照表

新

（巻末資料）

市指定文化財　　令和8年3月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	相輪樘	宰府4丁目	太宰府天満宮	平成24年5月25日	江戸後期
〃	老松社本殿	宰府4丁目	太宰府天満宮	平成27年10月20日	江戸前期
〃	日吉神社本殿・拝殿　　附 棟札	観世音寺5丁目	日吉神社	平成27年10月20日	江戸前期
〃	宝満山の石造鳥居	大字内山	竈門神社	平成27年10月20日	江戸前期
〃	光明寺本堂　附 大方玄関、知客寮、棟札	宰府2丁目	光明寺	平成37年2月28日	江戸後期
絵　画	齋藤家資料	国分4丁目	太宰府市	平成30年4月26日	江戸後～明治
彫　刻	木造文殊菩薩・弥勒菩薩立像 光背、蓮華座および方形台共	観世音寺5丁目	戒壇院	平成5年7月27日	江戸
〃	木造鑑真和上坐像　後屏、牀座共	観世音寺5丁目	戒壇院	平成5年7月27日	江戸
〃	六座の面　附 納入箱	宰府4丁目	太宰府天満宮	平成24年5月25日	中世後期
古文書	今川了俊書状	宰府1丁目	個人	平成25年9月25日	室町
考古資料	鬼瓦	観世音寺4丁目	太宰府市	昭和59年10月8日	奈良
〃	銅製経筒　経巻共　附 陶製外容器	国分4丁目	太宰府市	昭和59年10月8日	平安
〃	宮ノ本丘陵古代墓地出土品	国分4丁目	太宰府市	平成22年9月9日	奈良・平安
〃	神ノ前窯跡出土瓦　附 2号窯出土土器	国分4丁目	太宰府市	平成22年9月9日	古墳末期
〃	正平八年銘法華曼荼羅板碑	大字太宰府	太宰府市	平成22年9月9日	室町
〃	正平廿三年銘梵字板碑	三条1丁目	太宰府市	平成22年9月9日	室町
〃	文明拾八年銘梵字板碑	五条2丁目	個人	平成22年9月9日	室町
〃	獣帯鏡	国分4丁目	太宰府市	平成22年9月9日	弥生末～古墳前期
〃	木印（印面「直嶋」）	国分4丁目	太宰府市	平成27年10月20日	平安
〃	銅印（印面「高」）	国分4丁目	太宰府市	平成27年10月20日	平安
〃	菖蒲浦第1号墳出土品	国分4丁目	太宰府市	平成29年4月10日	古墳
〃	銭弘俶八万四千塔方立	国分4丁目9-1	太宰府市	平成29年4月10日	平安
〃	脇道遺跡出土旧石器時代石器群	国分4丁目9-1	太宰府市	平成33年8月30日	旧石器
〃	宝満山遺跡群出土金銅仏	国分4丁目9-1	太宰府市	平成36年2月29日	平安前期
〃	蔵骨器（灰釉陶器短頸四耳壺）	国分4丁目9-1	太宰府市	令和8年2月27日	平安前期
歴史資料	大野城太宰府旧蹟全図北	宰府1丁目	個人	平成21年3月3日	江戸
民俗文化財					
有形民俗文化財	平井家瓦製作用具及び関連資料	国分4丁目9-1	太宰府市	平成34年11月30日	江戸～昭和
記念物					
史　跡	陣ノ尾１号墳	国分2丁目	太宰府市	昭和58年7月1日	古墳
〃	内山辛野遺跡	大字内山・北谷	承天寺	平成16年1月30日	中世
〃	般若寺跡	朱雀2丁目	太宰府市	平成22年9月9日	古代
天然記念物	地禄神社のイチイガシ	大佐野3丁目	地禄神社	平成21年3月3日	幹周3.3m
〃	若宮神社の杜	国分4丁目	太宰府市	平成21年3月3日	最大木幹周4.8m
〃	太宰府天満宮のイチイガシ	宰府４丁目	太宰府天満宮	平成24年5月25日	幹周約5.4m
〃	戒壇院の菩提樹	観世音寺5丁目	戒壇院	平成25年9月25日	幹周1.28m
〃	日吉神社の社叢	観世音寺5丁目	日吉神社	平成25年9月25日	最大木幹周3.8m
〃	光明寺のチシャノキ	宰府2丁目	光明寺	平成27年10月20日	幹周2.47m
〃	坂本のムクノキ	坂本3丁目	太宰府市	平成27年10月20日	幹周3.65m

国登録文化財　　令和7年12月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	観世音寺宝蔵	観世音寺5丁目	観世音寺	平成36年3月6日	昭和

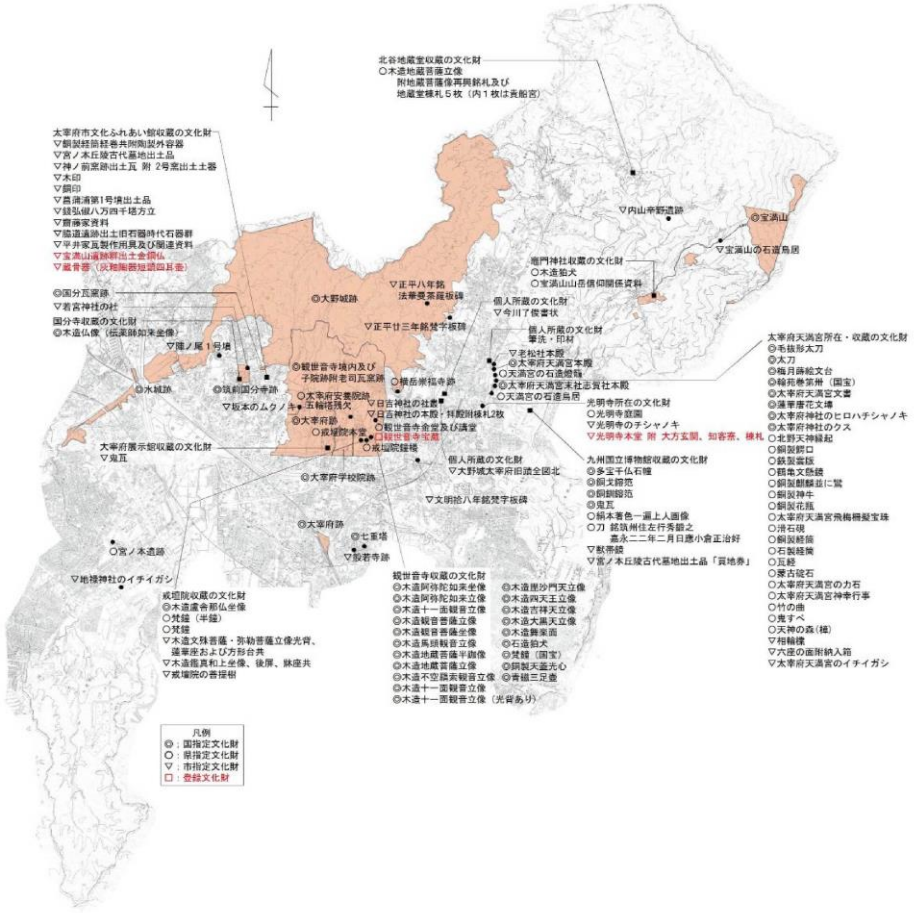
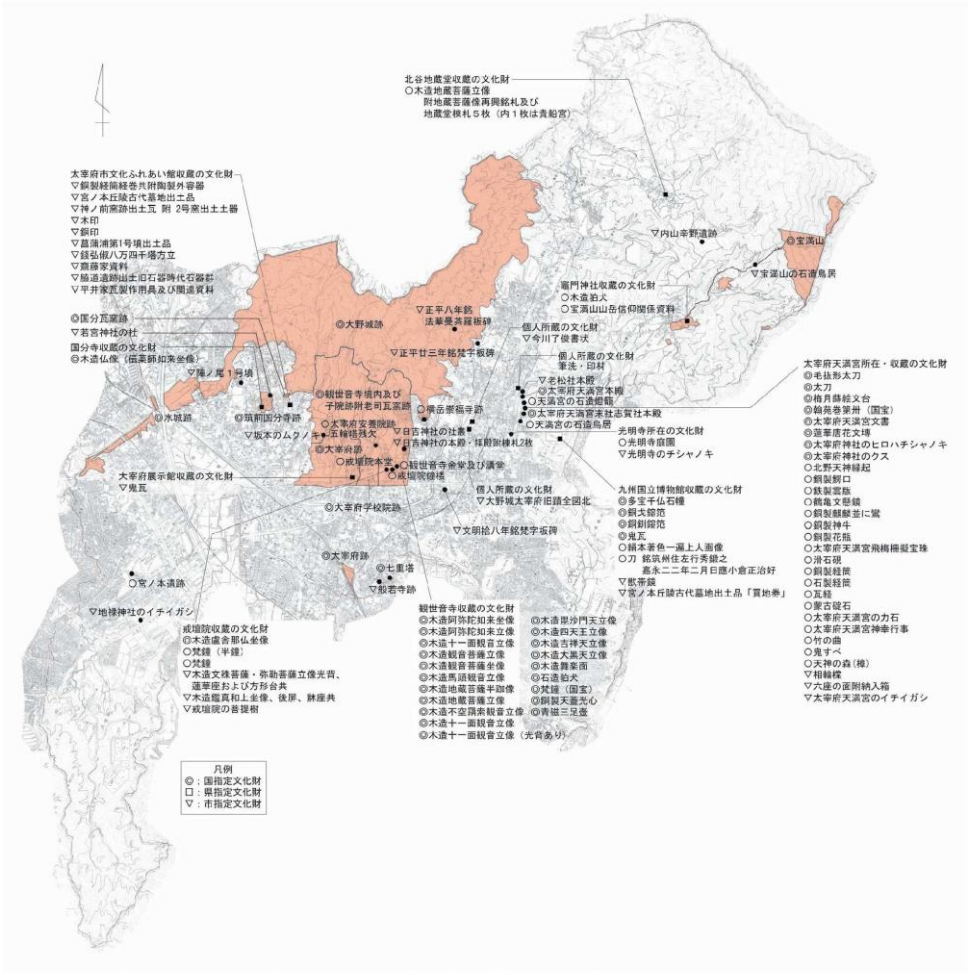
旧

（巻末資料）

市指定文化財　　令和4年12月31日現在

種　別	名　　称	所　在　地	管理者又は管理団体	指定年月日	時代等
有形文化財					
建造物	相輪樘	宰府4丁目	太宰府天満宮	平成24年5月25日	江戸後期
〃	老松社本殿	宰府4丁目	太宰府天満宮	平成27年10月20日	江戸前期
〃	日吉神社本殿・拝殿　　附 棟札	観世音寺5丁目	日吉神社	平成27年10月20日	江戸前期
〃	宝満山の石造鳥居	大字内山	竈門神社	平成27年10月20日	江戸前期
絵　画	齋藤家資料	国分4丁目	太宰府市	平成30年4月26日	江戸後～明治
彫　刻	木造文殊菩薩・弥勒菩薩立像 光背、蓮華座および方形台共	観世音寺5丁目	戒壇院	平成5年7月27日	江戸
〃	木造鑑真和上坐像　後屏、牀座共	観世音寺5丁目	戒壇院	平成5年7月27日	江戸
〃	六座の面　附 納入箱	宰府4丁目	太宰府天満宮	平成24年5月25日	中世後期
古文書	今川了俊書状	宰府1丁目	個人	平成25年9月25日	室町
考古資料	鬼瓦	観世音寺4丁目	太宰府市	昭和59年10月8日	奈良
〃	銅製経筒　経巻共　附 陶製外容器	国分4丁目	太宰府市	昭和59年10月8日	平安
〃	宮ノ本丘陵古代墓地出土品	国分4丁目	太宰府市	平成22年9月9日	奈良・平安
〃	神ノ前窯跡出土瓦　附 2号窯出土土器	国分4丁目	太宰府市	平成22年9月9日	古墳末期
〃	正平八年銘法華曼荼羅板碑	大字太宰府	太宰府市	平成22年9月9日	室町
〃	正平廿三年銘梵字板碑	三条1丁目	太宰府市	平成22年9月9日	室町
〃	文明拾八年銘梵字板碑	五条2丁目	個人	平成22年9月9日	室町
〃	獣帯鏡	国分4丁目	太宰府市	平成22年9月9日	弥生末～古墳前期
〃	木印（印面「直嶋」）	国分4丁目	太宰府市	平成27年10月20日	平安
〃	銅印（印面「高」）	国分4丁目	太宰府市	平成27年10月20日	平安
〃	菖蒲浦第1号墳出土品	国分4丁目	太宰府市	平成29年4月10日	古墳
〃	銭弘俶八万四千塔方立	国分4丁目9-1	太宰府市	平成29年4月10日	平安
〃	脇道遺跡出土旧石器時代石器群	国分4丁目9-1	太宰府市	令和3年8月30日	旧石器
歴史資料	大野城太宰府旧蹟全図北	宰府1丁目	個人	平成21年3月3日	江戸
民俗文化財					
有形民俗文化財	平井家瓦製作用具及び関連資料	国分4丁目9-1	太宰府市	令和4年11月30日	江戸～昭和
記念物					
史　跡	陣ノ尾１号墳	国分2丁目	太宰府市	昭和58年7月1日	古墳
〃	内山辛野遺跡	大字内山・北谷	承天寺	平成16年1月30日	中世
〃	般若寺跡	朱雀2丁目	太宰府市	平成22年9月9日	古代
天然記念物	地禄神社のイチイガシ	大佐野3丁目	地禄神社	平成21年3月3日	幹周3.3m
〃	若宮神社の杜	国分4丁目	太宰府市	平成21年3月3日	最大木幹周4.8m
〃	太宰府天満宮のイチイガシ	宰府４丁目	太宰府天満宮	平成24年5月25日	幹周約5.4m
〃	戒壇院の菩提樹	観世音寺5丁目	戒壇院	平成25年9月25日	幹周1.28m
〃	日吉神社の社叢	観世音寺5丁目	日吉神社	平成25年9月25日	最大木幹周3.8m
〃	光明寺のチシャノキ	宰府2丁目	光明寺	平成27年10月20日	幹周2.47m
〃	坂本のムクノキ	坂本3丁目	太宰府市	平成27年10月20日	幹周3.65m

■新旧対照表

新	旧
（巻末資料）  太宰府市の指定・登録文化財分布状況（令和８年３月現在）	（巻末資料）  太宰府市の指定文化財分布状況（令和４年 12 月現在）

■新旧対照表

新	旧
（奥付） 太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）　第２版 編集・発行　令和８年　月 太宰府市都市整備部 都市計画課　景観・歴史のまち推進係 太宰府市観世音寺１丁目１番１号 TEL：092-921-2121 URL：https://www.city.dazaifu.lg.jp	（奥付） 太宰府市歴史的風致維持向上計画（第２期）　第１版 編集・発行　令和５年３月 太宰府市都市整備部 都市計画課　景観・歴史のまち推進係 太宰府市観世音寺１丁目１番１号 TEL：092-921-2121 URL：https://www.city.dazaifu.lg.jp